

平成 12 年度厚生科学研究費補助金（医薬安全総合研究事業）
分担研究報告書

薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査（2000年）

分担研究者 和田 清 国立精神・神経センタ - 精神保健研究所薬物依存研究部長
研究協力者 菊池安希子 同上 流動研究員
尾崎米厚 鳥取大学医学部 衛生学教室 助教授
勝野眞吾 兵庫教育大学 学校教育学部 教授

研究要旨 中学生における薬物乱用の広がり把握し、中学生に対する薬物乱用防止対策の基礎資料に資するため、飲酒・喫煙・有機溶剤乱用に対する意識・実態調査を実施した。対象は、層別1段集落抽出法により選ばれた全国190校の全生徒である。その結果、140校（対象校の73.7%）より、62,198人（対象校190校の全生徒の63.9%前後）の回答を得た。有効回答数は62,080人（対象校190校の全生徒の63.8%前後）であった。その結果、以下のような結論を得た。男子では1.6%（1年生1.4%、2年生1.6%、3年生1.9%）、女子では0.9%（1年生0.8%、2年生0.8%、3年生1.1%）、全体では1.3%（1年生1.1%、2年生1.2%、3年生1.5%）の者が、これまでに有機溶剤乱用を経験したことがあると回答した。この結果は、男女合わせた全体では、1996年調査よりは0.2%高い値であるが、1998年調査とは同じ結果であり、男性では1998年調査より0.1%減少したものの、女性では横這いであることを示している。有機溶剤乱用の目撃率に関しては男性、女性、全体の全てにおいて低下しており（全体で10.3%から8.5%）、身近に「経験者がいる」と答えた者の率も、全てにおいて微減を示していたが（全体で5.4%から4.9%）、「誘われた」ことのある者の率は男性では横這いであり、女性では微増を示し、全体でも微増を示していた（男性で1.9%のまま。女性で1.4%から1.5%。全体では1.6%から1.7%）。以上を総合すると、男女合わせた全体では、有機溶剤乱用は横這い状態にあるが、男性では減少気味であるのに対して、女性では微増傾向が示唆されるということになる。有機溶剤乱用経験者群では、非経験者群に比べて、日常生活の規則性、学校生活、家庭生活、友人関係において、好ましくない傾向が統計学的有意差を持って強いことが再確認された。その背景には、家庭生活のあり方が大きく影響していると考えられる。経験者群では、「親との相談頻度」「家族との夕食頻度」が有意に低く、逆に「大人不在での時間」が有意に長く、親子の共有時間が少ない傾向がうかがわれた。有機溶剤乱用による医学的害知識では、経験者群の方が知っているという結果であり、「知識」と「行動」の不一致を改めて確認する結果となった。大麻の生涯経験率は、男子で0.6%、女子で0.3%、全体で0.4%であり、覚せい剤の生涯経験率は、男子で0.5%、女子で0.2%、全体で0.4%であった。大麻の生涯経験率は、男女共に全学年で減少傾向を見せており、覚せい剤の生涯経験率は、男性及び全体では全ての学年で減少傾向を見せていたが、女性に関しては、1年生、2年生では横這いであり、女性での減少が鈍かった。薬物乱用が普遍化してくると、女性での乱用者率が上がることによって、乱用者の男女比が縮まってくるのであり、今後が危惧される結果と考えられる。大麻を入手可能と認識していた者は、有機溶剤乱用未経験者群では、男子の23%、女子の24%であったが、経験者群では、男子で46%、女子で54%であった。覚せい剤を入手可能と認識していた者は有機溶剤乱用未経験者群では、男子の24%、女子の25%であったが、経験者群では、男子で46%、女子で53%であった。有機溶剤乱用経験者群での大麻及び覚せい剤の入手可能性の高さが強く示唆された。喫煙については、非喫煙群全体の13%の者が「少々ならかまわない」を選んでいたのであるが、有機溶剤乱用については、それを選んだ者は有機溶剤乱用非経験者群全体の4%に過ぎず、大麻では有機溶剤乱用非経験者全体の2%であった。同じ依存性薬物と言えども、有機溶剤・大麻乱用への垣根は高いことを物語っていた。しかし、有機溶剤乱用の経験と、大麻・覚せい剤乱用の経験とには、強い結びつきが認められ、同時に、喫煙経験と有機溶剤乱用経験との間にも強い結びつきが認められた。中学生では、喫煙有機溶剤乱用 大麻・覚せい剤乱用という流れがあることが強く示唆された。

A. 研究目的

本研究者らによるこれまでの調査研究によれば、わが国では、薬物乱用により、精神障害をきたして精神病院を受診した患者のうち、約26%は有機溶剤乱用が原因であり、約48%は覚せい剤乱用が原因であった¹⁾。また、覚せい剤乱用により精神障害をきたして精神病院を受診した患者の約1/3の者は、覚せい剤乱用以前に有機溶剤乱用の既往があった²⁾。つまり、わが国では、飲酒・喫煙を除けば、有機溶剤の乱用が精神医療の面からみて、その後の覚せい剤の乱用への門を開く「ゲイトウェイ・ドラッグ」³⁾であろうと推定できる。

この有機溶剤乱用は、14歳から16歳で開始され

ることが多く⁴⁾、予防対策上は中学生が重要である。したがって、中学生における「シンナ - 遊び」の実態を把握し、「シンナ - 遊び」に関連するハイリスク・ファクタ - を特定することは、わが国における薬物乱用防止対策上、不可欠である。

同時に、中学生における喫煙、飲酒は、「シンナ - 遊び」と強い関係を有していると推定され³⁾⁴⁾⁵⁾⁶⁾⁷⁾⁸⁾、中学生における喫煙、飲酒の一部が「シンナ - 遊び」開始ないしは継続への「ゲイトウェイ」になっている可能性が高い³⁾。

さらに、1993年頃から、外国人による大麻の路上での密売と、その後の覚せい剤の密売が社会問題化し、1995年以降は第3次覚せい剤乱用期に入ったと考えられている⁹⁾。その一端は、覚せい剤

表1 対象校の分布と回答状況

対象校	回答校	実施率(%)	対象校	回答校	実施率(%)		
北海道	8	5	62.5	京都	4	4	100.0
青森	2	2	100.0	大阪	12	2	16.7
岩手	2	1	50.0	兵庫	8	5	62.5
宮城	4	4	100.0	奈良	2	2	100.0
秋田	2	2	100.0	和歌山	2	2	100.0
山形	2	1	50.0	鳥取	2	1	50.0
福島	4	3	75.0	島根	2	2	100.0
茨城	5	5	100.0	岡山	3	2	66.7
栃木	3	3	100.0	広島	4	3	75.0
群馬	3	2	66.7	山口	2	2	100.0
埼玉	9	7	77.8	徳島	2	0	0
千葉	8	7	87.5	香川	2	2	100.0
東京	14	7	50.0	愛媛	2	2	100.0
神奈川	10	7	70.0	高知	2	1	50.0
新潟	4	4	100.0	福岡	8	7	87.5
富山	2	2	100.0	佐賀	2	2	100.0
石川	2	2	100.0	長崎	3	3	100.0
福井	2	1	50.0	熊本	3	2	66.7
山梨	2	2	100.0	大分	2	2	100.0
長野	3	3	100.0	宮崎	2	2	100.0
岐阜	3	3	100.0	鹿児島	3	1	33.3
静岡	6	6	100.0	沖縄	3	1	33.3
愛知	10	9	90.0				
三重	3	1	33.3	全体	190	140	73.7
滋賀	2	1	50.0				

取締法で補導された高校生及び中学生数の激増に象徴されている。高校生の補導者数は1994年までは、年間約40人前後で一定していた（警察庁生活安全局少年課）。ところが、1995年には92人、1996年には214人と、倍増し続けた。この影響は1997年には中学生にも及び、同法により補導された中学生数は対前年度比で2倍の43人にものぼっている。

これらの状況は、わが国が現在、これまでにない薬物汚染拡大の危機に直面していることを意味している。この危機的状況を乗り切るためには、未成年者、特に有機溶剤乱用開始の最頻年齢と推定される中学生に焦点を当てた予防対策が重要である。

以上の考えから、平成12年度は、平成8年度に初めて実施した、「薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査」¹⁰⁾の第3回目調査を実施し、薬物乱用防止対策の基礎資料として資することを目的とした。

B. 研究方法

調査は、下記方法によって選ばれた対象校で、原則として2000年10月中（一部11月～12月中）に、全生徒による自記式調査として実施された。

対象校の抽出方法には層別1段集落抽出法を用いた。抽出に用いたデータベースは、2000年版の全国学校総覧¹¹⁾である。どの都道府県からも最低1校は抽出されるようにするために、都道府県を層とし、中学生数に比例して都道府県毎に対象校の抽出を行った。すなわち、中学生数の最も少ない鳥取県での調査校数を1とし、その他の都道府県での調査校数は、鳥取県の生徒数との比に従って、切り上げで決定し、その後、鳥取県での調査対象校数を2に変更した。

対象校の抽出は、各都道府県毎に、上記の手続きで決定された数の中学校を全中学校から無作為

で抽出した。その際、学校毎の生徒数に比例して抽出確率を決める確率抽出法を用い、実際の抽出には乱数を使用した。また、抽出された学校の全生徒を調査対象としたので、1段集落抽出法と呼ぶ。この場合の集落とは学校を指す。

この操作により、全国の中学校から190校（97,280人）が選ばれた。

調査用紙には氏名等個人を特定できる項目はなく、学年、性別、日常生活の規則正しさ、学校生活、家庭生活、友人関係、喫煙について、飲酒について、「シンナ - 遊び」について、大麻乱用について、覚せい剤乱用について、薬物の入手し易さについての全51項目から構成されている。

調査用紙は教師によって生徒に配られた。記載の終わった生徒は、同時に配られた個人用封筒に調査用紙を入れ、封をし、あらかじめ用意されたクラス毎の回収用封筒に個人用封筒を投函した。各学校はクラス用回収封筒をとりまとめて当研究所に郵送し、各封筒は当研究所にて初めて開封された。

190校（国立3校、公立176校、私立11校）中、調査用紙による回答を頂けた中学校は140校（国立1校、公立134校、私立5校：対象校の73.7%）であった。そのうちの6校については、学年・クラスを限定した実施であった。その内訳は、1年生及び2年生でのみ実施した学校が2校、1年生及び3年生でのみ実施した学校が1校、2年生及び3年生でのみ実施した学校が1校、3年生の約半数にのみ実施した学校が1校であった。

以上の結果、62,198人（対象校190校の全生徒の63.9%。ただし、全国学校要覧による生徒数と実際の生徒数は一致しないため、正確な%は不明である）の調査用紙が回収されたが、うち118通は、明らかな記載上の不備、または記載項目が全51問の50%を満たしていなかったため無効とした。したがって、有効回答は62,080人（対象校190校の全生徒の63.8%）である。

表2 対象の内訳

	1年生		2年生		3年生		全体	
男性	10028	(50.3)	10408	(50.7)	10880	(50.3)	31316	(50.4)
女性	9909	(49.7)	10101	(49.2)	10722	(49.6)	30732	(49.5)
無回答	8	(.0)	7	(.0)	17	(.1)	32	(.1)
全体	19945	(100.0)	20516	(100.0)	21619	(100.0)	62080	(100.0)

また、有機溶剤の乱用の地域格差については、都市中心部と都市周辺部とは違いがありそうだが、どちらに多いかは都市によって異なっている可能性がある¹²⁾反面、都市全体同士の比較では予想以上に地域格差がない可能性もある¹²⁾。そこで、今回の調査が全国の中学生を対象にしながらも、全国を代表していない可能性もあるため、都道府県毎の回答状況を表1に示した。表1の実施状況が今回の調査結果にどのような影響を及ぼしているかは不明であるが、本調査の限界として、表1を見ておく必要がある。

有効回答の内訳は表2の通りである。男子31,316人、女子30,732人、性別不明・無効回答者32人の計62,080人である。

その結果、以下の各表では、全体は男性+女性+性別不明者になっている。結果の検定に当たっては、項目毎に回答の「無回答」を除外し、それぞれの項目毎に当該薬物の経験者群（以下、経験者群）と非経験者群（以下、非経験者群）とについて²検定をおこなった。

C. 研究結果

1. 「シンナ - 遊び」について

1. 有機溶剤乱用の広がりについて

(1) 「シンナ - 遊び」の生涯経験率について

性別・学年別の「シンナ - 遊び」の生涯経験率（これまでに1回でも「シンナー遊び」をしたことがある率）は表3の通りである。

生涯経験率は男子で1.6%（1年生1.4%、2年生1.6%、3年生1.9%）、女子で0.9%（1年生0.8%、2年生0.8%、3年生1.1%）であり、全体では1.3%（1年生1.1%、2年生1.2%、3年生1.5%）であった。

また、男子の生涯経験率には、学年間で有意差（ $P < 0.05$ ）が認められ、学年が進むにしたがって高くなる傾向が伺われた。しかし、女子では学年間での有意差は認められなかった。この結果は、1996年の第1回本調査¹⁰⁾、1998年の第2回本調査¹³⁾と同じであった。

なお、生涯経験率の推移については、考察で論じる。

(2) 「シンナ - 遊び」の1年経験率について

この1年間での「シンナ - 遊び」の経験率（1年経験率）は表4の通りである。

男子で0.9%（1年生0.7%、2年生0.9%、3年生1.1%）、女子で0.5%（1年生0.5%、2年生0.5%、3年生0.5%）

表3 これまでに1回でも「シンナー遊び」を経験したことがある率（生涯経験率）

		1年生		2年生		3年生		全体	
男性	シンナ-経験なし	9796	(97.7)	10162	(97.6)	10601	(97.4)	30559	(97.6)
	シンナ-経験あり	138	(1.4)	168	(1.6)	205	(1.9)	511	(1.6)
	無回答	94	(.9)	78	(.7)	74	(.7)	246	(.8)
	合計	10028	(100.0)	10408	(100.0)	10880	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 8.287, df=2, p=.016$)									
女性	シンナ-経験なし	9772	(98.6)	9965	(98.7)	10564	(98.5)	30301	(98.6)
	シンナ-経験あり	80	(.8)	79	(.8)	113	(1.1)	272	(.9)
	無回答	57	(.6)	57	(.6)	45	(.4)	159	(.5)
	合計	9909	(100.0)	10101	(100.0)	10722	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 5.331, df=2, p=.070$)									
全体	シンナ-経験なし	19576	(98.1)	20133	(98.1)	21182	(98.0)	60891	(98.1)
	シンナ-経験あり	218	(1.1)	248	(1.2)	318	(1.5)	784	(1.3)
	無回答	151	(.8)	135	(.7)	119	(.6)	405	(.7)
	合計	19945	(100.0)	20516	(100.0)	21619	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 12.443, df=2, p=.002$)									

6%)であり、全体では0.7% (1年生0.6%、2年生0.7%、3年生0.9%)であった。

また、男性及び全体で学年が進むにしたがって高くなる傾向が明らかであった。

(3) 「シンナー遊び」の目撃について

「あなたは、『シンナー遊び』をしているところを実際に見たことがありますか？」との問いに対する回答の分布を表5に示した。

男女ともに約8.5%の生徒が実際に見たことがあるという結果であった。同時に、男女ともに、学年が進むにつれて見たことのある者が有意 ($P < 0.01$) に増えていく傾向が示唆された。

なお、この目撃率の推移については、考察で論じる。

(4) 「シンナー遊び」経験者の存在の身近さについて

「あなたの身近に、『シンナー遊び』をしている人がいますか？」との問いに対する回答の分布を表6に示した。

男女ともに、約4~6%の者が「いる」と答えしており、学年が進むに従って、「いる」と答えた者の割合が有意に ($P < 0.01$) 高くなっていくことが

示唆された。しかも、男子よりも女子に多い傾向は以前の同種の調査と同じであった¹⁰⁾¹³⁾。

なお、上記についての年次推移については、考察で論じる。

(5) 「シンナー遊び」への誘惑について

「あなたは、『シンナー遊び』に誘われたことがありますか？」との問いに対する回答の分布を表7に示した。

男子で1.9%、女子で1.5%の者が誘われたことが「ある」と答えしており、男女ともに、学年が進むにつれて、誘われたことのある者の率が有意に ($P < 0.01$) 高くなる傾向が伺われた。

なお、この誘われ経験率の推移については、考察で論じる。

2. 有機溶剤乱用に対する捉え方

(1) 「シンナー遊び」への関心について

「『シンナー遊び』について、あなたの気持ちはどれに最も近いですか？」との問いに対する未経験者群での回答の分布を表8に示した。

男女ともに、学年間で有意差が認められ ($P < 0.01$)、男女ともに学年とともに「関心がない」者

表4 この1年間に「シンナー遊び」を1回でも経験したことのある者の率 (一年経験率)

		1年生	2年生	3年生	全体
男性	ない	9549 (95.2)	9963 (95.7)	10458 (96.1)	29970 (95.7)
	ある	75 (.7)	95 (.9)	118 (1.1)	288 (.9)
	無回答	404 (4.0)	350 (3.4)	304 (2.8)	1058 (3.4)
	合計	10028 (100.0)	10408 (100.0)	10880 (100.0)	31316 (100.0)
($\chi^2 = 6.058, df=2, p=.048$)					
女性	ない	9579 (96.7)	9809 (97.1)	10434 (97.3)	29822 (97.0)
	ある	46 (.5)	53 (.5)	69 (.6)	168 (.5)
	無回答	284 (2.9)	239 (2.4)	219 (2.0)	742 (2.4)
	合計	9909 (100.0)	10101 (100.0)	10722 (100.0)	30732 (100.0)
($\chi^2 = 3.027, df=2, p=.220$)					
全体	ない	19136 (95.9)	19778 (96.4)	20909 (96.7)	59823 (96.4)
	ある	121 (.6)	149 (.7)	187 (.9)	457 (.7)
	無回答	688 (3.4)	589 (2.9)	523 (2.4)	1800 (2.9)
	合計	19945 (100.0)	20516 (100.0)	21619 (100.0)	62080 (100.0)
($\chi^2 = 8.955, df=2, p=.011$)					

及び「試してみたい」と答えた者が増加し、「見てみたい」と答えた者が減少する傾向が伺われた。

「シンナー遊び」の生涯経験率（表3）を考慮すると、男女ともに、「シンナー遊び」に対する関心が学年と共に乖離する傾向があると解釈できる。

(2) 「シンナー遊び」と法の遵守について

『シンナー遊び』は法律で禁じられていますが、その『シンナー遊び』をすることをどう思いますか？との問いに対する回答の分布を「シンナー遊び」の経験の有無を軸にして表9に示した。

表5 「シンナー遊び」を実際に見たことがありますか？

		1年生		2年生		3年生		全体	
男性	ない	9234	(92.1)	9511	(91.4)	9749	(89.6)	28494	(91.0)
	ある	744	(7.4)	857	(8.2)	1104	(10.1)	2705	(8.6)
	無回答	50	(.5)	40	(.4)	27	(.2)	117	(.4)
	合計	10028	(100.0)	10408	(100.0)	10880	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 51.631, df=2, p=.000$)									
女性	ない	9190	(92.7)	9283	(91.9)	9614	(89.7)	28087	(91.4)
	ある	695	(7.0)	796	(7.9)	1096	(10.2)	2587	(8.4)
	無回答	24	(.2)	22	(.2)	12	(.1)	58	(.2)
	合計	9909	(100.0)	10101	(100.0)	10722	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 73.861, df=2, p=.000$)									
全体	ない	18432	(92.4)	18800	(91.6)	19377	(89.6)	56609	(91.2)
	ある	1439	(7.2)	1654	(8.1)	2203	(10.2)	5296	(8.5)
	無回答	74	(.4)	62	(.3)	39	(.2)	175	(.3)
	合計	19945	(100.0)	20516	(100.0)	21619	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 124.970, df=2, p=.000$)									

表6 身近に「シンナー遊び」をしている人がいますか？

		1年生		2年生		3年生		全体	
男性	いない	9674	(96.5)	9887	(95.0)	10233	(94.1)	29794	(95.1)
	いる	285	(2.8)	461	(4.4)	601	(5.5)	1347	(4.3)
	無回答	69	(.7)	60	(.6)	46	(.4)	175	(.6)
	男性計	10028	(100.0)	10408	(100.0)	10880	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 91.064, df=2, p=.000$)									
女性	いない	9466	(95.5)	9549	(94.5)	9889	(92.2)	28904	(94.1)
	いる	393	(4.0)	510	(5.0)	794	(7.4)	1697	(5.5)
	無回答	50	(.5)	42	(.4)	39	(.4)	131	(.4)
	女性計	9909	(100.0)	10101	(100.0)	10722	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 122.716, df=2, p=.000$)									
全体	いない	19146	(96.0)	19442	(94.8)	20136	(93.1)	58724	(94.6)
	いる	679	(3.4)	972	(4.7)	1398	(6.5)	3049	(4.9)
	無回答	120	(.6)	102	(.5)	85	(.4)	307	(.5)
	全体計	19945	(100.0)	20516	(100.0)	21619	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 208.916, df=2, p=.000$)									

回答の分布には、男女共に有意差が認められ($P < 0.01$)、未経験者群では男女共に約94%の者が「法律で禁止されているから、すべきではない」を選んだのに対して、経験者群では、男女共に「法律

で禁止されてはいるが、少々ならかまわないと思う」「法律を守る必要は全然ないと思う」と答えた者が42~49%いた。

表7 「シンナー遊び」に誘われた経験

		1年生		2年生		3年生		全体	
男性	ない	9494	(94.7)	9838	(94.5)	10207	(93.8)	29539	(94.3)
	ある	128	(1.3)	183	(1.8)	272	(2.5)	583	(1.9)
	無回答	406	(4.0)	387	(3.7)	401	(3.7)	1194	(3.8)
	合計	10028	(100.0)	10408	(100.0)	10880	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 43.262, df=2, p=.000$)									
女性	ない	9351	(94.4)	9471	(93.8)	9892	(92.3)	28714	(93.4)
	ある	110	(1.1)	139	(1.4)	226	(2.1)	475	(1.5)
	無回答	448	(4.5)	491	(4.9)	604	(5.6)	1543	(5.0)
	合計	9909	(100.0)	10101	(100.0)	10722	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 37.960, df=2, p=.000$)									
全体	ない	18852	(94.5)	19314	(94.1)	20114	(93.0)	58280	(93.9)
	ある	238	(1.2)	323	(1.6)	499	(2.3)	1060	(1.7)
	無回答	855	(4.3)	879	(4.3)	1006	(4.7)	2740	(4.4)
	合計	19945	(100.0)	20516	(100.0)	21619	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 81.221, df=2, p=.000$)									

表8 「シンナー遊び」についての気持ち（未経験者についてのみ）

		1年生		2年生		3年生		全体	
男性	関心がない	8821	(90.0)	9234	(90.9)	9745	(91.9)	27800	(91.0)
	見てみたい	771	(7.9)	716	(7.0)	635	(6.0)	2122	(6.9)
	試してみたい	118	(1.2)	136	(1.3)	160	(1.5)	414	(1.4)
	無回答	86	(.9)	76	(.7)	61	(.6)	223	(.7)
	合計	9796	(100.0)	10162	(100.0)	10601	(100.0)	30559	(100.0)
($\chi^2 = 31.618, df= 4, p=.000$)									
女性	関心がない	8547	(87.5)	8809	(88.4)	9447	(89.4)	26803	(88.5)
	見てみたい	981	(10.0)	931	(9.3)	857	(8.1)	2769	(9.1)
	試してみたい	158	(1.6)	160	(1.6)	202	(1.9)	520	(1.7)
	無回答	86	(.9)	65	(.7)	58	(.5)	209	(.7)
	合計	9772	(100.0)	9965	(100.0)	10564	(100.0)	30301	(100.0)
($\chi^2 = 27.083, df= 4, p=.000$)									
全体	関心がない	17375	(88.8)	18048	(89.6)	19208	(90.7)	54631	(89.7)
	見てみたい	1753	(9.0)	1647	(8.2)	1492	(7.0)	4892	(8.0)
	試してみたい	276	(1.4)	297	(1.5)	363	(1.7)	936	(1.5)
	無回答	172	(.9)	141	(.7)	119	(.6)	432	(.7)
	合計	19576	(100.0)	20133	(100.0)	21182	(100.0)	60891	(100.0)
($\chi^2 = 58.025, df= 4, p=.000$)									

(3) 「シンナー遊び」と法規制の必要性について

「法律で『シンナー遊び』を禁止しているのをご存知ですか?」との問いに対する回答の分布を表10に示した。

回答の分布には、男女共に有意差が認められ($P < 0.01$)。非経験者群では、男女ともに86~87%の者が「当然だと思う」を選んだのに対して、経験者群では、「麻薬・覚せい剤とちがって、シンナーくらい禁止しなくてもいいのではないかと思います」「そもそも法律で決める必要はなく、個人の好きにさせればよいと思う」と答えた者が相当数いた(男子で33.3%、女子で38.6%)。

(4) 「シンナー遊び」をしている者への見方(その1)

「『シンナー遊び』をしている人について、どう思いますか?」との問いに対する回答の分布を表11に示した。

回答の分布には、男女共に有意差が認められ(P

< 0.01)。非経験者群では男女共に約92~93%の者が「自分には無関係の人だと思う」を選んだのに対して、経験者群では「『シンナー遊び』をする気持ちが理解できる気がする」ないしは「親しみを感じる」を選んだ者が相当数いた(男子で47.6%、女子で56.3%)。この結果は、「シンナー遊び」への好奇心を調べた表8の経験者群・未経験者群での乖離現象と同様に考えられる。

(5) 「シンナー遊び」をしている者への見方(その2)

「『シンナー遊び』をしている人と親しくなる事について、どう考えますか?」との問いに対する回答の分布を表12に示した。

回答の分布には、男女共に有意差が認められた($P < 0.01$)。非経験者群では「親しくなりたくない」を選んだ者が、男女共に64~70%だったのに対して、経験者群では男女共に「シンナー遊びだけで決めたくない」を選んだ者と「すでに親しい」を選んだ者との合計が67~73%にのぼった。

表9 「シンナー遊び」についてどう思いますか? (法の遵守)

		生涯シンナー経験			全体	
		なし	あり	無回答		
男性	すべきでない	28766 (94.1)	295 (57.7)	143 (58.1)	29204 (93.3)	
	少々ならかまわない	1021 (3.3)	112 (21.9)	12 (4.9)	1145 (3.7)	
	守る必要はなし	678 (2.2)	101 (19.8)	13 (5.3)	792 (2.5)	
	無回答	94 (.3)	3 (.6)	78 (31.7)	175 (.6)	
	合計	30559 (100.0)	511 (100.0)	246 (100.0)	31316 (100.0)	
($\chi^2 = 1167.165, df = 2, p = .000$)						
女性	すべきでない	28531 (94.2)	136 (50.0)	100 (62.9)	28767 (93.6)	
	少々ならかまわない	1265 (4.2)	73 (26.8)	13 (8.2)	1351 (4.4)	
	守る必要はなし	413 (1.4)	61 (22.4)	6 (3.8)	480 (1.6)	
	無回答	92 (.3)	2 (.7)	40 (25.2)	134 (.4)	
	合計	30301 (100.0)	272 (100.0)	159 (100.0)	30732 (100.0)	
($\chi^2 = 1148.783, df = 2, p = .000$)						
全体	すべきでない	57325 (94.1)	431 (55.0)	243 (60.0)	57999 (93.4)	
	少々ならかまわない	2286 (3.8)	185 (23.6)	25 (6.2)	2496 (4.0)	
	守る必要なし	1093 (1.8)	163 (20.8)	19 (4.7)	1275 (2.1)	
	無回答	187 (.3)	5 (.6)	118 (29.1)	310 (.5)	
	合計	60891 (100.0)	784 (100.0)	405 (100.0)	62080 (100.0)	
($\chi^2 = 2266.299, df = 2, p = .000$)						

表 10 法律で「シンナー遊び」を禁止しているのをどう思いますか？（法規制の必要性）

		生涯シナ-経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	当然	26924	(88.1)	248	(48.5)	129	(52.4)	27301	(87.2)
	仕方がない	2040	(6.7)	89	(17.4)	15	(6.1)	2144	(6.8)
	禁止しなくていい	277	(.9)	56	(11.0)	6	(2.4)	339	(1.1)
	個人の自由	1251	(4.1)	114	(22.3)	21	(8.5)	1386	(4.4)
	無回答	67	(.2)	4	(.8)	75	(30.5)	146	(.5)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2=1033.708$, df= 3, p= .000)									
女性	当然	26477	(87.4)	116	(42.6)	95	(59.7)	26688	(86.8)
	仕方がない	2442	(8.1)	49	(18.0)	11	(6.9)	2502	(8.1)
	禁止しなくていい	277	(.9)	36	(13.2)	3	(1.9)	316	(1.0)
	個人の自由	1032	(3.4)	69	(25.4)	11	(6.9)	1112	(3.6)
	無回答	73	(.2)	2	(.7)	39	(24.5)	114	(.4)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2= 859.791$, df= 3, p= .000)									
全体	当然	53425	(87.7)	364	(46.4)	224	(55.3)	54013	(87.0)
	仕方がない	4486	(7.4)	138	(17.6)	26	(6.4)	4650	(7.5)
	禁止しなくていい	554	(.9)	92	(11.7)	9	(2.2)	655	(1.1)
	個人の自由	2286	(3.8)	184	(23.5)	32	(7.9)	2502	(4.0)
	無回答	140	(.2)	6	(.8)	114	(28.1)	260	(.4)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2= 1886.605$, df= 3, p= .000)									

表 11 「シンナー遊び」をしている人についてどう思いますか？

		生涯シナ-経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	自分には無関係	28612	(93.6)	260	(50.9)	146	(59.3)	29018	(92.7)
	気持ちが理解できる	1570	(5.1)	163	(31.9)	16	(6.5)	1749	(5.6)
	親しみを感じる	190	(.6)	80	(15.7)	7	(2.8)	277	(.9)
	無回答	187	(.6)	8	(1.6)	77	(31.3)	272	(.9)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2= 2070.479$, df= 2, p= .000)									
女性	自分には無関係	27900	(92.1)	111	(40.8)	101	(63.5)	28112	(91.5)
	気持ちが理解できる	2139	(7.1)	119	(43.8)	16	(10.1)	2274	(7.4)
	親しみを感じる	89	(.3)	34	(12.5)	1	(.6)	124	(.4)
	無回答	173	(.6)	8	(2.9)	41	(25.8)	222	(.7)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2= 1604.508$, df= 2, p= .000)									
全体	自分には無関係	56538	(92.9)	371	(47.3)	247	(61.0)	57156	(92.1)
	気持ちが理解できる	3712	(6.1)	282	(36.0)	32	(7.9)	4026	(6.5)
	親しみを感じる	280	(.5)	115	(14.7)	8	(2.0)	403	(.6)
	無回答	361	(.6)	16	(2.0)	118	(29.1)	495	(.8)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2= 3733.295$, df= 2, p= .000)									

表 12 「シンナー遊び」をしている人と親しくなることについてどう思いますか？

		生涯シンナー経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	親しくなりたくない	21372	(69.9)	162	(31.7)	101	(41.1)	21635	(69.1)
	「シンナー遊び」だけで決めたたくない	8811	(28.8)	231	(45.2)	52	(21.1)	9094	(29.0)
	すでに親しい	249	(.8)	110	(21.5)	8	(3.3)	367	(1.2)
	無回答	127	(.4)	8	(1.6)	85	(34.6)	220	(.7)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 2040.959, df= 2, p= .000$)									
女性	親しくなりたくない	19456	(64.2)	75	(27.6)	59	(37.1)	19590	(63.7)
	「シンナー遊び」だけで決めたたくない	10462	(34.5)	122	(44.9)	53	(33.3)	10637	(34.6)
	すでに親しい	268	(.9)	75	(27.6)	1	(.6)	344	(1.1)
	無回答	115	(.4)			46	(28.9)	161	(.5)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 1769.900, df= 2, p= .000$)									
全体	親しくなりたくない	40845	(67.1)	237	(30.2)	160	(39.5)	41242	(66.4)
	「シンナー遊び」だけで決めたたくない	19285	(31.7)	353	(45.0)	105	(25.9)	19743	(31.8)
	すでに親しい	518	(.9)	186	(23.7)	9	(2.2)	713	(1.1)
	無回答	243	(.4)	8	(1.0)	131	(32.3)	382	(.6)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 3771.957, df= 2, p= .000$)									

表 13 どうして「シンナー遊び」をするのだと思いますか？（複数回答）

		生涯シンナー経験						全体		
		なし		あり		無回答				
男性	本人に問題	20118	(65.8)	270	(52.8)	146	(59.3)	20534	(65.6)	($\chi^2 = 31.801, df=1, p=.000$)
	家庭に問題	15862	(51.9)	239	(46.8)	120	(48.8)	16221	(51.8)	($\chi^2 = 3.508, df=1, p=.061$)
	学校に問題	10380	(34.0)	210	(41.1)	75	(30.5)	10665	(34.1)	($\chi^2 = 13.982, df=1, p=.000$)
	社会に問題	10345	(33.9)	216	(42.3)	74	(30.1)	10635	(34.0)	($\chi^2 = 18.997, df=1, p=.000$)
	無回答	358	(1.2)	16	(3.1)	20	(8.1)	394	(1.3)	
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)	
女性	本人に問題	18022	(59.5)	141	(51.8)	89	(56.0)	18252	(59.4)	($\chi^2 = 6.386, df=1, p=.012$)
	家庭に問題	20638	(68.1)	167	(61.4)	94	(59.1)	20899	(68.0)	($\chi^2 = 5.446, df=1, p=.020$)
	学校に問題	13865	(45.8)	152	(55.9)	69	(43.4)	14086	(45.8)	($\chi^2 = 11.550, df=1, p=.001$)
	社会に問題	10609	(35.0)	107	(39.3)	52	(32.7)	10768	(35.0)	($\chi^2 = 2.334, df=1, p=.127$)
	無回答	366	(1.2)	4	(1.5)	8	(5.0)	378	(1.2)	
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)	
全体	本人に問題	38159	(62.7)	411	(52.4)	235	(58.0)	38805	(62.5)	($\chi^2 = 30.105, df=1, p=.000$)
	家庭に問題	36516	(60.0)	407	(51.9)	214	(52.8)	37137	(59.8)	($\chi^2 = 17.400, df=1, p=.000$)
	学校に問題	24255	(39.8)	362	(46.2)	144	(35.6)	24761	(39.9)	($\chi^2 = 15.652, df=1, p=.000$)
	社会に問題	20963	(34.4)	323	(41.2)	126	(31.1)	21412	(34.5)	($\chi^2 = 18.347, df=1, p=.000$)
	無回答	726	(1.2)	20	(2.6)	28	(6.9)	774	(1.2)	
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)	

(6) 「シンナー遊び」をする理由について

『シンナー遊び』をしている人たちは、どうして『シンナー遊び』をするのだと思いますか？との問いに対する回答の分布を表13に示した。

非経験者群では、男女ともに「本人に問題があるから」ないしは「家庭に問題があるから」が上位2つを占めたが、女子では「家庭に問題がある

から」を選んだ者の多さが目立った。

一方、経験者群男子では、「本人に問題があるから」が最も多く、その他の3つの選択肢にはほとんど差がなく、女子では「家庭に問題があるから」「学校に問題があるから」が上位2つとなった。

女子では、有機溶剤乱用の経験に関わらず、「家庭に問題があるから」を重要視する傾向が男子よりは強い傾向が伺われた。

表 14 シンナー遊びによる急性中毒死を知っていますか？

		生涯シンナー経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	知っている	18481	(60.5)	340	(66.5)	113	(45.9)	18934	(60.5)
	知らない	12062	(39.5)	168	(32.9)	61	(24.8)	12291	(39.2)
	無回答	16	(.1)	3	(.6)	72	(29.3)	91	(.3)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
		($\chi^2 = 8.630, df = 1, p = .003$)							
女性	知っている	20277	(66.9)	184	(67.6)	83	(52.2)	20544	(66.8)
	知らない	10010	(33.0)	87	(32.0)	44	(27.7)	10141	(33.0)
	無回答	14	(.0)	1	(.4)	32	(20.1)	47	(.2)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
		($\chi^2 = .109, df = 1, p = .741$)							
全体	知っている	38777	(63.7)	525	(67.0)	196	(48.4)	39498	(63.6)
	知らない	22083	(36.3)	255	(32.5)	105	(25.9)	22443	(36.2)
	無回答	31	(.1)	4	(.5)	104	(25.7)	139	(.2)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
		($\chi^2 = 4.302, df = 1, p = .038$)							

表 15 「シンナー遊び」を繰り返すと歯がぼろぼろになりやすいことを知っていますか？

		生涯シンナー経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	知っている	17030	(55.7)	346	(67.7)	95	(38.6)	17471	(55.8)
	知らない	13509	(44.2)	163	(31.9)	80	(32.5)	13752	(43.9)
	無回答	20	(.1)	2	(.4)	71	(28.9)	93	(.3)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
		($\chi^2 = 30.295, df = 1, p = .000$)							
女性	知っている	16879	(55.7)	188	(69.1)	73	(45.9)	17140	(55.8)
	知らない	13408	(44.2)	83	(30.5)	53	(33.3)	13544	(44.1)
	無回答	14	(.0)	1	(.4)	33	(20.8)	48	(.2)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
		($\chi^2 = 20.274, df = 1, p = .000$)							
全体	知っている	33931	(55.7)	535	(68.2)	168	(41.5)	34634	(55.8)
	知らない	26925	(44.2)	246	(31.4)	133	(32.8)	27304	(44.0)
	無回答	35	(.1)	3	(.4)	104	(25.7)	142	(.2)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
		($\chi^2 = 50.819, df = 1, p = .000$)							

3. 有機溶剤乱用による医学的害について

(1) 「シンナー」吸引による急性中毒死について

『シンナー遊び』で死亡すること（急性中毒死）があるのを知っていますか？」との問いに対する回答の分布を表14に示した。

回答の分布には、男性では有意差が認められ、

経験者群の方で「知っている」者が有意(p<0.01)に多かった。この経験者群の方で急性中毒死を知っている者が多いと言う結果は、これまでに報告された結果と同様であり⁵⁾¹⁰⁾¹³⁾、知識教育のいっそうの充実の必要と共に、「知識が行動に結びつくとは限らない」という薬物乱用・依存問題の重要な問題性を提起しており、薬物乱用防止教育実施の際には考慮すべき点であると考えられる。

表 16 「シンナー遊び」を繰り返すと多発神経炎になることがあるのを知っていますか？

		生涯シンナー経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	知っている	16197	(53.0)	301	(58.9)	126	(51.2)	16624	(53.1)
	知らない	14196	(46.5)	204	(39.9)	105	(42.7)	14505	(46.3)
	無回答	166	(.5)	6	(1.2)	15	(6.1)	187	(.6)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 7.953, df=1, p=.005$)									
女性	知っている	18196	(60.1)	185	(68.0)	89	(56.0)	18470	(60.1)
	知らない	11969	(39.5)	87	(32.0)	65	(40.9)	12121	(39.4)
	無回答	136	(.4)			5	(3.1)	141	(.5)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 6.670, df=1, p=.010$)									
全体	知っている	34416	(56.5)	487	(62.1)	215	(53.1)	35118	(56.6)
	知らない	26172	(43.0)	291	(37.1)	170	(42.0)	26633	(42.9)
	無回答	303	(.5)	6	(.8)	20	(4.9)	329	(.5)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 10.510, df=1, p=.001$)									

表 17 「シンナー遊び」を繰り返すと精神病状態になることがあるのを知っていますか？

		生涯シンナー経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	知っている	22015	(72.0)	379	(74.2)	154	(62.6)	22548	(72.0)
	知らない	8329	(27.3)	127	(24.9)	77	(31.3)	8533	(27.2)
	無回答	215	(.7)	5	(1.0)	15	(6.1)	235	(.8)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 1.381, df= 1, p=.240$)									
女性	知っている	23177	(76.5)	207	(76.1)	109	(68.6)	23493	(76.4)
	知らない	6948	(22.9)	63	(23.2)	47	(29.6)	7058	(23.0)
	無回答	176	(.6)	2	(.7)	3	(1.9)	181	(.6)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = .011, df= 1, p=.917$)									
全体	知っている	45217	(74.3)	587	(74.9)	263	(64.9)	46067	(74.2)
	知らない	15282	(25.1)	190	(24.2)	124	(30.6)	15596	(25.1)
	無回答	392	(.6)	7	(.9)	18	(4.4)	417	(.7)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = .265, df= 1, p=.607$)									

(2) 「シンナー」吸引の繰り返しによる歯の腐食について

「『シンナー遊び』を繰り返すと、歯がぼろぼろになりやすことを知っていますか？」との問いに対する回答の分布を表15に示した。

回答の分布には、男女ともに有意差が認められ ($p < 0.01$)、経験者群の方で、「知っている」を選んだ者が有意に多かった。ここでも、急性中毒死についてと同様のことが言えよう。

(3) 「シンナー」吸引の繰り返しによる多発神経炎について

「『シンナー遊び』を繰り返すと、手足の筋肉や神経が衰え、物をつかめなかつたり、歩けなくなること(多発神経炎)があるのを知っていますか？」との問いに対する回答の分布を表16に示した。

回答の分布には、男女共に、有意差 ($p < 0.01$) があり、経験者群の方で「知っている」を選んだ者が多かった。

この多発神経炎は有機溶剤乱用による身体的害の中でも最も重篤な害の一つであるが、未経験者群で「知っている」を選んだ者の割合は、男子で53.0%、女子で60.1%であり、今後の薬物乱用防止に関する知識教育の課題の一つと言えよう。

(4) 「シンナー」吸引の繰り返しによる有機溶剤精神病について

「『シンナー遊び』を繰り返すと、何も無いのに物が見えたり(幻視)、実際には何も聞こえないのに、声が聞こえたり(幻聴)、誰も何とも思っていないのに、人が自分の事を非難していると思ひ込んだり(妄想)する状態(精神病状態)になることがあるのを知っていますか？」との問いに対する回答の分布を表17に示した。

回答の分布には、男女共に有意差が認められなかった。

有機溶剤精神病は有機溶剤乱用による害の中で、無動機症候群、フラッシュバックと並んで、重篤な精神的障害の一つであると考えられるが、これについても、さらに教育していく必要性が示唆された。

(5) 「シンナー」吸引の繰り返しによる無動機症候群について

「『シンナー遊び』を繰り返すと、何事にも関心が持てなくなり、結果的に学校を欠席しがちになり、どんな仕事についても長続きしなくなる(無動機症候群)を知っていますか？」との問いに対する回答の分布を表18に示した。

表 18 「シンナー遊び」を繰り返すと無動機症候群になることがあるのを知っていますか？

		生涯シナ-経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	知っている	12892	(42.2)	251	(49.1)	101	(41.1)	13244	(42.3)
	知らない	17290	(56.6)	249	(48.7)	130	(52.8)	17669	(56.4)
	無回答	377	(1.2)	11	(2.2)	15	(6.1)	403	(1.3)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 11.256, df = 1, p = .001$)									
女性	知っている	14708	(48.5)	152	(55.9)	68	(42.8)	14928	(48.6)
	知らない	15307	(50.5)	117	(43.0)	85	(53.5)	15509	(50.5)
	無回答	286	(.9)	3	(1.1)	6	(3.8)	295	(1.0)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 6.006, df = 1, p = .014$)									
全体	知っている	27617	(45.4)	404	(51.5)	169	(41.7)	28190	(45.4)
	知らない	32610	(53.6)	366	(46.7)	215	(53.1)	33191	(53.5)
	無回答	664	(1.1)	14	(1.8)	21	(5.2)	699	(1.1)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 13.386, df = 1, p = .000$)									

男女共に、有意差が認められ (P<0.01及びP<0.05)、「知っている」を選んだ者は経験者群の方で多かった。

この無動機症候群は有機溶剤乱用による害の中でも、特に重篤なものと考えられるが、これまでに述べた害の中でも、この無動機症候群についての知識普及率が最も低く、ややもすれば身体への害知識の普及に傾きがちな薬物乱用防止教育の今後の最大の課題であろうと考えられる。

(6)有機溶剤精神病後のフラッシュバックについて

『シンナー遊び』の結果、幻視、幻聴、妄想が出るようになってしまうと、それを治療して治っても、その後「シンナー遊び」をやめていても、疲れ・ストレス・飲酒などで、幻視、幻聴、妄想が再出現すること(フラッシュバック)があるのを知っていますか?との問いに対する回答の分布を表19に示した。

回答の分布には男女共に有意差が認められ (P<0.01) 男女共に、この知識をより有しているのは経験者群の方であった。しかも、男女共に「知らない」を選んだ者が、未経験者群では50%を上

回っており、これも、今後の薬物乱用防止に関する知識教育の課題の一つと言えよう。

4.有機溶剤乱用と日常生活の規則性について

(1)起床時間について

「起床時間は、ほぼ一定していますか?」との問いに対する回答の分布を表20に示した。

男女ともに、未経験者群では80%台の者が一定しているを選んだのに対して、経験者群では、54~60%の者が一定していないを選んだ。男女共に、経験者群の起床時間は未経験者群のそれに比べて、有意 (p<0.01) に乱れていた。

(2)就床時間について

「就床時間は、ほぼ一定していますか?」との問いに対する回答の分布を表21に示した。

男女ともに、未経験者群では50~51%の者が一定しているを選んだのに対して、経験者群では、約63~73%の者が一定していないを選んだ。

男女共に、経験者群の就床時間は未経験者群のそれに比べて、有意 (p<0.01) に乱れていた。

表 19 「シンナー遊び」の結果、フラッシュバックが起こることがあるのを知っていますか?

		生涯シナ-経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	知っている	15661	(51.2)	294	(57.5)	116	(47.2)	16071	(51.3)
	知らない	14651	(47.9)	213	(41.7)	113	(45.9)	14977	(47.8)
	無回答	247	(.8)	4	(.8)	17	(6.9)	268	(.9)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 7.983, df = 1, p = .005$)									
女性	知っている	16212	(53.5)	172	(63.2)	83	(52.2)	16467	(53.6)
	知らない	13893	(45.8)	100	(36.8)	71	(44.7)	14064	(45.8)
	無回答	196	(.6)			5	(3.1)	201	(.7)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 9.554, df = 1, p = .002$)									
全体	知っている	31895	(52.4)	467	(59.6)	199	(49.1)	32561	(52.5)
	知らない	28552	(46.9)	313	(39.9)	184	(45.4)	29049	(46.8)
	無回答	444	(.7)	4	(.5)	22	(5.4)	470	(.8)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 15.607, df = 1, p = .000$)									

(3)朝食について

「毎朝、朝食を食べていますか？」との問いに対する回答の分布を表22に示した。

非経験者群では男女ともに80%台の者が「ほと

んど毎日（食べている）」を選んだのに対して、経験者群では、男女ともに「ほとんど毎日（食べている）」を選んだ者は58～64%であった。

男女共に、経験者群では、非経験者群に比べて、朝食頻度が有意 ($p<0.01$) に低いと解釈できる。

表 20 あなたの起床時間はほぼ一定していますか？

		生涯シナ-経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	はい	24788	(81.1)	306	(59.9)	191	(77.6)	25285	(80.7)
	いいえ	5697	(18.6)	203	(39.7)	54	(22.0)	5954	(19.0)
	無回答	74	(.2)	2	(.4)	1	(.4)	77	(.2)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2=145.914$, df= 1, p= .000)									
女性	はい	25605	(84.5)	147	(54.0)	122	(76.7)	25874	(84.2)
	いいえ	4622	(15.3)	124	(45.6)	34	(21.4)	4780	(15.6)
	無回答	74	(.2)	1	(.4)	3	(1.9)	78	(.3)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2=189.720$, df= 1, p= .000)									
全体	はい	50413	(82.8)	453	(57.8)	313	(77.3)	51179	(82.4)
	いいえ	10328	(17.0)	328	(41.8)	88	(21.7)	10744	(17.3)
	無回答	150	(.2)	3	(.4)	4	(1.0)	157	(.3)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2=336.369$, df= 1, p= .000)									

表 21 あなたの就寝時間はほぼ一定していますか？

		生涯シナ-経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	はい	15662	(51.3)	186	(36.4)	118	(48.0)	15966	(51.0)
	いいえ	14765	(48.3)	322	(63.0)	128	(52.0)	15215	(48.6)
	無回答	132	(.4)	3	(.6)			135	(.4)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2= 44.160$, df= 1, p= .000)									
女性	はい	15184	(50.1)	71	(26.1)	72	(45.3)	15327	(49.9)
	いいえ	14993	(49.5)	198	(72.8)	84	(52.8)	15275	(49.7)
	無回答	124	(.4)	3	(1.1)	3	(1.9)	130	(.4)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2= 61.034$, df= 1, p= .000)									
全体	はい	30857	(50.7)	257	(32.8)	190	(46.9)	31304	(50.4)
	いいえ	29776	(48.9)	521	(66.5)	212	(52.3)	30509	(49.1)
	無回答	258	(.4)	6	(.8)	3	(.7)	267	(.4)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2= 98.004$, df= 1, p= .000)									

5. 有機溶剤乱用と学校生活について

(1) 学校生活について

「あなたにとって、学校生活は次のどれですか？」との問いに対する回答を表23に示した。

男女共に、経験者群と非経験者群とでは、回答の分布に有意差 ($p < 0.01$) が認められ、「全く楽しくない」を選んだ者は、非経験者群では、男女共に約4%であったが、経験者群では男子では22%、女子では20%であった。

経験者群に「楽しくない」傾向の者が有意に多いと解釈できる。

(2) クラブ活動について

「クラブ活動(部活)に参加していますか？」との問いに対する回答の分布を表24に示した。

男女共に、経験者群と非経験者群との間には、回答の分布に有意差 ($p < 0.01$) が認められ、非経験者群で「参加していない」を選んだ者は、男子で16%、女子で17%であったのに対して、経験者群

では、男子で30%、女子で39%の者が「参加していない」を選んだ。

経験者群の方で、クラブ活動(部活)に参加していない者の割合が有意に高い傾向にあると解釈できる。

6. 有機溶剤乱用と家庭生活について

(1) 家族との夕食頻度

夕食には、「一家団らん」としての意味合いが本来あると考え、一週間における家族での夕食頻度を調査した。

「夕食を週何回くらい家族全員で食べますか？」との問いに対する回答の分布を表25に、また「母親と週何回くらい夕食を食べますか?」「父親と週何回くらい夕食を食べますか?」の問いに対する回答の分布を、それぞれ表26、表27に示した。

すべての場合において、回答の分布には有意差 ($p < 0.01$) が認められ、かつ、「ほとんど毎日」食べるを選んだ者の割合は、常に「シンナー遊び」

表 22 毎朝、朝食を食べていますか？

		生涯シナ-経験			全体	
		なし	あり	無回答		
男性	ほとんど毎日食べている	25291 (82.8)	325 (63.6)	185 (75.2)	25801 (82.4)	
	時々食べる	3387 (11.1)	91 (17.8)	39 (15.9)	3517 (11.2)	
	ほとんど食べない	1801 (5.9)	93 (18.2)	21 (8.5)	1915 (6.1)	
	無回答	80 (.3)	2 (.4)	1 (.4)	83 (.3)	
	合計	30559 (100.0)	511 (100.0)	246 (100.0)	31316 (100.0)	
($\chi^2 = 167.753, df = 2, p = .000$)						
女性	ほとんど毎日食べている	25575 (84.4)	157 (57.7)	124 (78.0)	25856 (84.1)	
	時々食べる	3098 (10.2)	58 (21.3)	24 (15.1)	3180 (10.3)	
	ほとんど食べない	1566 (5.2)	55 (20.2)	11 (6.9)	1632 (5.3)	
	無回答	62 (.2)	2 (.7)		64 (.2)	
	合計	30301 (100.0)	272 (100.0)	159 (100.0)	30732 (100.0)	
($\chi^2 = 171.064, df = 2, p = .000$)						
全体	ほとんど毎日食べている	50890 (83.6)	482 (61.5)	309 (76.3)	51681 (83.2)	
	時々食べる	6487 (10.7)	149 (19.0)	63 (15.6)	6699 (10.8)	
	ほとんど食べない	3371 (5.5)	149 (19.0)	32 (7.9)	3552 (5.7)	
	無回答	143 (.2)	4 (.5)	1 (.2)	148 (.2)	
	合計	60891 (100.0)	784 (100.0)	405 (100.0)	62080 (100.0)	
($\chi^2 = 342.497, df = 2, p = .000$)						

表 23 あなたにとって、学校生活は次のどれですか？

	生涯シナ-経験						全体	
	なし		あり		無回答			
男性								
とても楽しい	9624	(31.5)	126	(24.7)	77	(31.3)	9827	(31.4)
どちらかと言えば楽しい	15353	(50.2)	179	(35.0)	118	(48.0)	15650	(50.0)
あまり楽しくない	4278	(14.0)	95	(18.6)	34	(13.8)	4407	(14.1)
全く楽しくない	1259	(4.1)	111	(21.7)	17	(6.9)	1387	(4.4)
無回答	45	(.1)					45	(.1)
合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
								($\chi^2=390.879, df=2, p=.000$)
女性								
とても楽しい	10211	(33.7)	69	(25.4)	48	(30.2)	10328	(33.6)
どちらかと言えば楽しい	14338	(47.3)	101	(37.1)	73	(45.9)	14512	(47.2)
あまり楽しくない	4656	(15.4)	47	(17.3)	30	(18.9)	4733	(15.4)
全く楽しくない	1030	(3.4)	55	(20.2)	8	(5.0)	1093	(3.6)
無回答	66	(.2)					66	(.2)
合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
								($\chi^2=226.582, df=2, p=.000$)
全体								
とても楽しい	19843	(32.6)	195	(24.9)	125	(30.9)	20163	(32.5)
どちらかと言えば楽しい	29699	(48.8)	280	(35.7)	191	(47.2)	30170	(48.6)
あまり楽しくない	8942	(14.7)	142	(18.1)	64	(15.8)	9148	(14.7)
全く楽しくない	2294	(3.8)	167	(21.3)	25	(6.2)	2486	(4.0)
無回答	113	(.2)					113	(.2)
合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
								($\chi^2=642.696, df=2, p=.000$)

表 24 クラブ活動(部活)には参加していますか？

	生涯シナ-経験						全体	
	なし		あり		無回答			
男性								
積極的に参加している	21063	(68.9)	242	(47.4)	159	(64.6)	21464	(68.5)
消極的に参加している	4299	(14.1)	111	(21.7)	39	(15.9)	4449	(14.2)
参加していない	4971	(16.3)	154	(30.1)	46	(18.7)	5171	(16.5)
無回答	226	(.7)	4	(.8)	2	(.8)	232	(.7)
合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
								($\chi^2=113.505, df=2, p=.000$)
女性								
積極的に参加している	20198	(66.7)	104	(38.2)	103	(64.8)	20405	(66.4)
消極的に参加している	4790	(15.8)	60	(22.1)	23	(14.5)	4873	(15.9)
参加していない	5016	(16.6)	105	(38.6)	29	(18.2)	5150	(16.8)
無回答	297	(1.0)	3	(1.1)	4	(2.5)	304	(1.0)
合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
								($\chi^2=117.822, df=2, p=.000$)
全体								
積極的に参加している	41275	(67.8)	346	(44.1)	262	(64.7)	41883	(67.5)
消極的に参加している	9097	(14.9)	171	(21.8)	62	(15.3)	9330	(15.0)
参加していない	9994	(16.4)	260	(33.2)	75	(18.5)	10329	(16.6)
無回答	525	(.9)	7	(.9)	6	(1.5)	538	(.9)
合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
								($\chi^2=219.177, df=2, p=.000$)

経験者群で明らかに低かった。同時に、両群間では、「ほとんど食べる」を選んだ者の割合の差よりは、むしろ「ほとんど食べない」、ないしは「母親・父親がいない(死別、離婚、別居、単身赴任など)」を選んだ者の割合の差が大きいことが目立った。

すなわち、「家族全員での夕食頻度」では「ほとんど食べない」を選んだ者は、非経験者群では男女共に19%台であったのに対して、経験者群では、男子で31%、女子で36%であった。「母親との夕食頻度」では、「ほとんど食べない」ないしは「母親がいない」を選んだ者は、非経験者群では男女共に約8%であったのに対して、経験者群では、

男子で22%、女子で24%であった。また、「父親との夕食頻度」では、「ほとんど食べない」ないしは「父親がいない」と答えた者は、非経験者群では男子で21%、女子で23%であったのに対して、経験者群では、男子で37%、女子で42%であった。

また、「父親との夕食頻度」は、「家族全員での夕食頻度」より低く、これは論理の矛盾であるが、この矛盾は、この種の調査で毎回認められていることである⁵⁾¹⁰⁾¹³⁾。我が国の社会環境の中で、父親が夕食時に帰宅できない事情がかなり定着しており、家族全員での夕食と言ったときには、中学生の解釈では、父親は既に含まれていない傾向が強いことを示していると解釈できる。

表 25 夕食を週何回くらい家族全員で食べますか？

		生涯シナ-経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	ほとんど毎日	9135	(29.9)	124	(24.3)	76	(30.9)	9335	(29.8)
	5～6回	3453	(11.3)	52	(10.2)	25	(10.2)	3530	(11.3)
	4回前後	3338	(10.9)	67	(13.1)	24	(9.8)	3429	(10.9)
	3回前後	2852	(9.3)	34	(6.7)	23	(9.3)	2909	(9.3)
	2回前後	5631	(18.4)	70	(13.7)	41	(16.7)	5742	(18.3)
	ほとんど食べない	5860	(19.2)	157	(30.7)	57	(23.2)	6074	(19.4)
	無回答	290	(.9)	7	(1.4)			297	(.9)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 52.923, df = 5, p = .000$)									
女性	ほとんど毎日	9512	(31.4)	64	(23.5)	55	(34.6)	9631	(31.3)
	5～6回	3364	(11.1)	29	(10.7)	23	(14.5)	3416	(11.1)
	4回前後	3100	(10.2)	22	(8.1)	17	(10.7)	3139	(10.2)
	3回前後	2655	(8.8)	22	(8.1)	9	(5.7)	2686	(8.7)
	2回前後	5490	(18.1)	35	(12.9)	15	(9.4)	5540	(18.0)
	ほとんど食べない	5902	(19.5)	98	(36.0)	36	(22.6)	6036	(19.6)
	無回答	278	(.9)	2	(.7)	4	(2.5)	284	(.9)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 48.375, df = 5, p = .000$)									
全体	ほとんど毎日	18653	(30.6)	188	(24.0)	131	(32.3)	18972	(30.6)
	5～6回	6819	(11.2)	81	(10.3)	48	(11.9)	6948	(11.2)
	4回前後	6442	(10.6)	89	(11.4)	41	(10.1)	6572	(10.6)
	3回前後	5508	(9.0)	56	(7.1)	32	(7.9)	5596	(9.0)
	2回前後	11130	(18.3)	105	(13.4)	56	(13.8)	11291	(18.2)
	ほとんど食べない	11768	(19.3)	256	(32.7)	93	(23.0)	12117	(19.5)
	無回答	571	(.9)	9	(1.1)	4	(1.0)	584	(.9)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 96.131, df = 5, p = .000$)									

いずれにしても、経験者群では、非経験者群に比べて、家族との夕食頻度が有意 ($p < 0.01$) に少ないと解釈できる。

(2) 一日での大人不在の時間について

「学校、塾、習い事、運動での時間以外、大人が不在の状態、毎日平均どの程度の時間を過ごしますか？」との問いに対する回答の分布を表28に示した。

経験者群、非経験者群間で男女ともに有意差 ($p < 0.01$) が認められた。非経験者群で「3時間以上」を選んだ者は、男女ともに13~14%であるのに対して、経験者群では男女ともに24~31%であった。

経験者群で、大人不在で過ごす時間が有意に長い傾向があることが示唆された。

(3) 親との相談について

「悩みごとがある時、親と相談する方だと思

表 26 母親と週何回くらい夕食を食べますか？

		生涯シナ-経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	ほとんど毎日	18565	(60.8)	217	(42.5)	142	(57.7)	18924	(60.4)
	5~6回	3805	(12.5)	70	(13.7)	29	(11.8)	3904	(12.5)
	4回前後	2599	(8.5)	41	(8.0)	25	(10.2)	2665	(8.5)
	3回前後	1432	(4.7)	23	(4.5)	15	(6.1)	1470	(4.7)
	2回前後	1297	(4.2)	30	(5.9)	12	(4.9)	1339	(4.3)
	ほとんど食べない	1727	(5.7)	78	(15.3)	19	(7.7)	1824	(5.8)
	母親がいない	596	(2.0)	33	(6.5)	2	(.8)	631	(2.0)
	無回答	538	(1.8)	19	(3.7)	2	(.8)	559	(1.8)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 165.088, df = 6, p = .000$)									
女性	ほとんど毎日	20474	(67.6)	118	(43.4)	101	(63.5)	20693	(67.3)
	5~6回	2959	(9.8)	28	(10.3)	19	(11.9)	3006	(9.8)
	4回前後	2042	(6.7)	27	(9.9)	9	(5.7)	2078	(6.8)
	3回前後	1128	(3.7)	18	(6.6)	6	(3.8)	1152	(3.7)
	2回前後	1132	(3.7)	11	(4.0)	5	(3.1)	1148	(3.7)
	ほとんど食べない	1421	(4.7)	40	(14.7)	11	(6.9)	1472	(4.8)
	母親がいない	633	(2.1)	26	(9.6)	4	(2.5)	663	(2.2)
	無回答	512	(1.7)	4	(1.5)	4	(2.5)	520	(1.7)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 159.663, df = 6, p = .000$)									
全体	ほとんど毎日	39056	(64.1)	335	(42.7)	243	(60.0)	39634	(63.8)
	5~6回	6768	(11.1)	98	(12.5)	48	(11.9)	6914	(11.1)
	4回前後	4645	(7.6)	68	(8.7)	34	(8.4)	4747	(7.6)
	3回前後	2561	(4.2)	41	(5.2)	21	(5.2)	2623	(4.2)
	2回前後	2429	(4.0)	41	(5.2)	17	(4.2)	2487	(4.0)
	ほとんど食べない	3150	(5.2)	118	(15.1)	30	(7.4)	3298	(5.3)
	母親がいない	1230	(2.0)	60	(7.7)	6	(1.5)	1296	(2.1)
	無回答	1052	(1.7)	23	(2.9)	6	(1.5)	1081	(1.7)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 326.648, df = 6, p = .000$)									

ますか？」との問いに対する回答の分布を表29に示した。

男女ともに、回答の分布には有意差 ($p < 0.01$) が認められ、非経験者群で「ほとんど相談しない方である」を選んだ者は、男子で42%、女子で34%であったのに対して、経験者群では男女共に43~54%であった。

経験者群の方で、親との相談が少ない傾向にあることが示唆された。

同時に、「シンナー遊び」の経験の有無に関わ

らず、男女ともに、そもそも、「よく相談する方である」を選んだ者の少なさが目立った。

7. 有機溶剤乱用と友人関係について

(1) 遊び友達について

「親しく遊べる友人がいますか？」との問いに対する回答の分布を表30に示した。

表 27 父親と週何回くらい夕食を食べますか？

		生涯シンナー-経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	ほとんど毎日	8584	(28.1)	103	(20.2)	67	(27.2)	8754	(28.0)
	5 ~ 6回	3744	(12.3)	67	(13.1)	20	(8.1)	3831	(12.2)
	4回前後	3659	(12.0)	48	(9.4)	31	(12.6)	3738	(11.9)
	3回前後	2880	(9.4)	31	(6.1)	21	(8.5)	2932	(9.4)
	2回前後	4677	(15.3)	54	(10.6)	37	(15.0)	4768	(15.2)
	ほとんど食べない	3739	(12.2)	123	(24.1)	37	(15.0)	3899	(12.5)
	父親がいない	2685	(8.8)	67	(13.1)	28	(11.4)	2780	(8.9)
	無回答	591	(1.9)	18	(3.5)	5	(2.0)	614	(2.0)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 96.512, df = 6, p = .000$)									
女性	ほとんど毎日	8603	(28.4)	53	(19.5)	49	(30.8)	8705	(28.3)
	5 ~ 6回	3561	(11.8)	22	(8.1)	29	(18.2)	3612	(11.8)
	4回前後	3269	(10.8)	19	(7.0)	15	(9.4)	3303	(10.7)
	3回前後	2636	(8.7)	18	(6.6)	7	(4.4)	2661	(8.7)
	2回前後	4646	(15.3)	40	(14.7)	13	(8.2)	4699	(15.3)
	ほとんど食べない	3833	(12.6)	61	(22.4)	23	(14.5)	3917	(12.7)
	父親がいない	3201	(10.6)	54	(19.9)	20	(12.6)	3275	(10.7)
	無回答	552	(1.8)	5	(1.8)	3	(1.9)	560	(1.8)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 57.770, df = 6, p = .000$)									
全体	ほとんど毎日	17194	(28.2)	156	(19.9)	116	(28.6)	17466	(28.1)
	5 ~ 6回	7307	(12.0)	89	(11.4)	49	(12.1)	7445	(12.0)
	4回前後	6933	(11.4)	67	(8.5)	46	(11.4)	7046	(11.3)
	3回前後	5521	(9.1)	49	(6.3)	28	(6.9)	5598	(9.0)
	2回前後	9327	(15.3)	94	(12.0)	50	(12.3)	9471	(15.3)
	ほとんど食べない	7575	(12.4)	184	(23.5)	60	(14.8)	7819	(12.6)
	父親がいない	5887	(9.7)	122	(15.6)	48	(11.9)	6057	(9.8)
	無回答	1147	(1.9)	23	(2.9)	8	(2.0)	1178	(1.9)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 141.138, df = 6, p = .000$)									

男女ともに、経験者群と非経験者群との間には有意差 ($p < 0.01$) が認められた。男女ともに、経験者群の方で、「親しく遊べる友人がいない」を選んだ生徒が多いのは、これまでの同種の調査結果⁵⁾¹⁰⁾¹³⁾と同じであった。

い」傾向がより強いことが示唆された。

2. 喫煙について

(2) 相談事のできる友人について

「相談事のできる友人がいますか？」との問いに対する回答の分布を表31に示した。

男女ともに、経験者群・非経験者群間で有意差 ($p < 0.01$) が認められ、「(相談できる友人は) いない」を選んだ者は、非経験者群の男子で19%、女子で10%であったのに対して、経験者群では男子で25%、女子で16%と、違いが認められた。

経験者群の方で、相談事のできる友人が「いな

1. 喫煙の広がりについて

(1) 喫煙の生涯経験率について

喫煙の生涯経験率(これまでに1回でも喫煙したことのある率)についての回答を表32に示した。

生涯経験率と学年の間には、男女ともに有意差が認められ ($P < 0.01$) 学年が進むにしたがって、生涯経験率が増加する傾向が認められた。

表 28 大人が不在の状態、毎日平均どの程度の時間を過ごしますか？

		生涯シナ-経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	なし	10497	(34.3)	162	(31.7)	66	(26.8)	10725	(34.2)
	1 時間未満	5892	(19.3)	75	(14.7)	46	(18.7)	6013	(19.2)
	1 時間 ~ 2 時間	5820	(19.0)	91	(17.8)	48	(19.5)	5959	(19.0)
	2 時間 ~ 3 時間	3857	(12.6)	55	(10.8)	25	(10.2)	3937	(12.6)
	3 時間以上	4296	(14.1)	121	(23.7)	51	(20.7)	4468	(14.3)
	無回答	197	(.6)	7	(1.4)	10	(4.1)	214	(.7)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 41.346, df = 4, p = .000$)									
女性	なし	12587	(41.5)	82	(30.1)	52	(32.7)	12721	(41.4)
	1 時間未満	4971	(16.4)	36	(13.2)	31	(19.5)	5038	(16.4)
	1 時間 ~ 2 時間	5158	(17.0)	37	(13.6)	16	(10.1)	5211	(17.0)
	2 時間 ~ 3 時間	3496	(11.5)	30	(11.0)	20	(12.6)	3546	(11.5)
	3 時間以上	3859	(12.7)	85	(31.3)	30	(18.9)	3974	(12.9)
	無回答	230	(.8)	2	(.7)	10	(6.3)	242	(.8)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 83.627, df = 4, p = .000$)									
全体	なし	23095	(37.9)	244	(31.1)	118	(29.1)	23457	(37.8)
	1 時間未満	10870	(17.9)	111	(14.2)	77	(19.0)	11058	(17.8)
	1 時間 ~ 2 時間	10981	(18.0)	128	(16.3)	64	(15.8)	11173	(18.0)
	2 時間 ~ 3 時間	7356	(12.1)	85	(10.8)	45	(11.1)	7486	(12.1)
	3 時間以上	8160	(13.4)	207	(26.4)	81	(20.0)	8448	(13.6)
	無回答	429	(.7)	9	(1.1)	20	(4.9)	458	(.7)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 114.581, df = 6, p = .000$)									

表 29 悩み事があるとき、親と相談する方だと思いますか？

		生涯シナ-経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	よく相談する	2514	(8.2)	26	(5.1)	18	(7.3)	2558	(8.2)
	どちらかと言えばする	6165	(20.2)	54	(10.6)	27	(11.0)	6246	(19.9)
	どちらかと言えばしない	8608	(28.2)	125	(24.5)	58	(23.6)	8791	(28.1)
	ほとんど相談しない	12926	(42.3)	275	(53.8)	91	(37.0)	13292	(42.4)
	親がいない	94	(.3)	22	(4.3)			116	(.4)
	無回答	252	(.8)	9	(1.8)	52	(21.1)	313	(1.0)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 264.892, df = 4, p = .000$)									
女性	よく相談する	4316	(14.2)	28	(10.3)	19	(11.9)	4363	(14.2)
	どちらかと言えばする	7901	(26.1)	56	(20.6)	30	(18.9)	7987	(26.0)
	どちらかと言えばしない	7564	(25.0)	51	(18.8)	41	(25.8)	7656	(24.9)
	ほとんど相談しない	10232	(33.8)	117	(43.0)	51	(32.1)	10400	(33.8)
	親がいない	96	(.3)	18	(6.6)			114	(.4)
	無回答	192	(.6)	2	(.7)	18	(11.3)	212	(.7)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 304.393, df = 4, p = .000$)									
全体	よく相談する	6835	(11.2)	54	(6.9)	37	(9.1)	6926	(11.2)
	どちらかと言えばする	14072	(23.1)	110	(14.0)	57	(14.1)	14239	(22.9)
	どちらかと言えばしない	16177	(26.6)	176	(22.4)	99	(24.4)	16452	(26.5)
	ほとんど相談しない	23172	(38.1)	392	(50.0)	142	(35.1)	23706	(38.2)
	親がいない	190	(.3)	41	(5.2)			231	(.4)
	無回答	445	(.7)	11	(1.4)	70	(17.3)	526	(.8)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 578.179, df = 4, p = .000$)									

表 30 親しく遊べる友人がいますか？

		生涯シナ-経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	いる	29333	(96.0)	461	(90.2)	235	(95.5)	30029	(95.9)
	いない	1164	(3.8)	47	(9.2)	11	(4.5)	1222	(3.9)
	無回答	62	(.2)	3	(.6)			65	(.2)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 39.329, df = 1, p = .000$)									
女性	いる	29020	(95.8)	227	(83.5)	151	(95.0)	29398	(95.7)
	いない	1207	(4.0)	43	(15.8)	7	(4.4)	1257	(4.1)
	無回答	74	(.2)	2	(.7)	1	(.6)	77	(.3)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 96.942, df = 1, p = .000$)									
全体	いる	58379	(95.9)	688	(87.8)	386	(95.3)	59453	(95.8)
	いない	2375	(3.9)	91	(11.6)	18	(4.4)	2484	(4.0)
	無回答	137	(.2)	5	(.6)	1	(.2)	143	(.2)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 120.780, df = 1, p = .000$)									

男子では26.9% (1年生19.1%、2年生27.0%、3年生33.9%) であり、女子では16.4% (1年生11.6%、2年生15.8%、3年生21.4%) であった。全体では1年生で15.4%、2年生で21.5%、3年生で27.7%であった。

(2)喫煙の1年経験率について

この1年間での喫煙の経験率 (この1年間に1回でも喫煙したことのある率) についての回答を表33に示した。

生涯経験率と同様に、1年経験率と学年との間

表 31 相談事のできる友人がいますか？

		生涯シナ-経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	いる	24772	(81.1)	377	(73.8)	195	(79.3)	25344	(80.9)
	いない	5640	(18.5)	128	(25.0)	49	(19.9)	5817	(18.6)
	無回答	147	(.5)	6	(1.2)	2	(.8)	155	(.5)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 15.141, df = 1, p = .000$)									
女性	いる	27165	(89.7)	225	(82.7)	140	(88.1)	27530	(89.6)
	いない	3012	(9.9)	44	(16.2)	17	(10.7)	3073	(10.0)
	無回答	124	(.4)	3	(1.1)	2	(1.3)	129	(.4)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 12.003, df = 1, p = .001$)									
全体	いる	51960	(85.3)	602	(76.8)	335	(82.7)	52897	(85.2)
	いない	8659	(14.2)	173	(22.1)	66	(16.3)	8898	(14.3)
	無回答	272	(.4)	9	(1.1)	4	(1.0)	285	(.5)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 40.145, df = 1, p = .000$)									

表 32 喫煙の生涯経験率

		1年生		2年生		3年生		全体	
男性	喫煙経験なし	7972	(79.5)	7507	(72.1)	7105	(65.3)	22584	(72.1)
	喫煙経験あり	1920	(19.1)	2811	(27.0)	3689	(33.9)	8420	(26.9)
	無回答	136	(1.4)	90	(.9)	86	(.8)	312	(1.0)
	合計	10028	(100.0)	10408	(100.0)	10880	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 569.020, df = 2, p = .000$)									
女性	喫煙経験なし	8665	(87.4)	8434	(83.5)	8358	(78.0)	25457	(82.8)
	喫煙経験あり	1151	(11.6)	1595	(15.8)	2297	(21.4)	5043	(16.4)
	無回答	93	(.9)	72	(.7)	67	(.6)	232	(.8)
	合計	9909	(100.0)	10101	(100.0)	10722	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 362.198, df = 2, p = .000$)									
全体	喫煙経験なし	16645	(83.5)	15945	(77.7)	15471	(71.6)	48061	(77.4)
	喫煙経験あり	3071	(15.4)	4409	(21.5)	5994	(27.7)	13474	(21.7)
	無回答	229	(1.1)	162	(.8)	154	(.7)	545	(.9)
	合計	19945	(100.0)	20516	(100.0)	21619	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 917.255, df = 2, p = .000$)									

には、男女ともに有意差が認められ ($P < 0.01$)、学年が進むにしたがって、経験率が増加する傾向が認められた。

男子では13.8% (1年生8.4%、2年生14.0%、3年生18.6%) であり、女子では7.2% (1年生4.2%、2年生6.9%、3年生10.4%) であった。全体では1年生で6.3%、2年生で10.5%、3年生で14.5%であった。

2. 喫煙に対する捉え方

(1) 喫煙と法の遵守について

「未成年者の喫煙は法律で禁じられていますが、あなたは未成年者の喫煙をどう思いますか？」との問いに対する回答の分布を表 34 に示した。

表 33 喫煙の1年経験率

		1年生		2年生		3年生		全体	
男性	喫煙経験なし	9051	(90.3)	8848	(85.0)	8758	(80.5)	26657	(85.1)
	喫煙経験あり	846	(8.4)	1455	(14.0)	2025	(18.6)	4326	(13.8)
	無回答	131	(1.3)	105	(1.0)	97	(.9)	333	(1.1)
	合計	10028	(100.0)	10408	(100.0)	10880	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 450.026, df = 2, p = .000$)									
女性	喫煙経験なし	9402	(94.9)	9329	(92.4)	9536	(88.9)	28267	(92.0)
	喫煙経験あり	416	(4.2)	698	(6.9)	1111	(10.4)	2225	(7.2)
	無回答	91	(.9)	74	(.7)	75	(.7)	240	(.8)
	合計	9909	(100.0)	10101	(100.0)	10722	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 292.537, df = 2, p = .000$)									
全体	喫煙経験なし	18461	(92.6)	18182	(88.6)	18307	(84.7)	54950	(88.5)
	喫煙経験あり	1262	(6.3)	2155	(10.5)	3139	(14.5)	6556	(10.6)
	無回答	222	(1.1)	179	(.9)	173	(.8)	574	(.9)
	合計	19945	(100.0)	20516	(100.0)	21619	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 732.335, df = 2, p = .000$)									

表 34 未成年の喫煙をどう思いますか？ (法の遵守)

		生涯喫煙経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	吸うべきでない	18992	(84.1)	4017	(47.7)	199	(63.8)	23208	(74.1)
	少々ならかまわない	2553	(11.3)	3072	(36.5)	41	(13.1)	5666	(18.1)
	全然かまわない	968	(4.3)	1293	(15.4)	15	(4.8)	2276	(7.3)
	無回答	71	(.3)	38	(.5)	57	(18.3)	166	(.5)
	合計	22584	(100.0)	8420	(100.0)	312	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 4270.970, df = 2, p = .000$)									
女性	吸うべきでない	21006	(82.5)	2238	(44.4)	146	(62.9)	23390	(76.1)
	少々ならかまわない	3605	(14.2)	2144	(42.5)	51	(22.0)	5800	(18.9)
	全然かまわない	759	(3.0)	635	(12.6)	15	(6.5)	1409	(4.6)
	無回答	87	(.3)	26	(.5)	20	(8.6)	133	(.4)
	合計	25457	(100.0)	5043	(100.0)	232	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 3453.068, df = 2, p = .000$)									
全体	吸うべきでない	40012	(83.3)	6258	(46.4)	345	(63.3)	46615	(75.1)
	少々ならかまわない	6162	(12.8)	5221	(38.7)	92	(16.9)	11475	(18.5)
	全然かまわない	1729	(3.6)	1930	(14.3)	30	(5.5)	3689	(5.9)
	無回答	158	(.3)	65	(.5)	78	(14.3)	301	(.5)
	合計	48061	(100.0)	13474	(100.0)	545	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 7763.389, df = 2, p = .000$)									

回答の分布には、男女共に有意差が認められ($p < 0.01$)、未経験者群では、男女共に 83 ~ 84%の者が「法律で禁じられているから、吸うべきでない」を選んだのに対して、経験者群では、それを選んだ者は男女共に 44 ~ 48%しかおらず、逆に「法律で禁じられてはいるが、全然かまわない」を選んだ者が男子で 15%、女子で 13%いた(未経験者群では、それぞれ 4%、3%)。

これを「シンナー遊び」に関する法の遵守(表 9)と比べた場合、「すべきではない」を選んだ者は、「シンナー遊び」非経験者群では、男女共に 94%であったわけで、喫煙に関しては約 10%の低下とすることになる。

(2) 喫煙と法規制の必要性について

「未成年者の喫煙禁止をどう思いますか？」に対する回答の分布を表 35 に示した。

回答の分布には、男女共に有意差が認められ(p

< 0.01)、未経験者群では男女共に 62 ~ 65%の者が「当然だと思う」を選んだのに対して、経験者群では、それを選んだ者は、男子で 30%、女子で 27%であり、男女共に 21 ~ 22%の者が「そもそも法律で決める必要はなく、個人の好きにさせればよいと思う」を選んでいた。

これを「シンナー遊び」に関する法規制の必要性(表 10)と比べた場合、「当然だと思う」を選んだ者は、「シンナー遊び」非経験者群では、男女共に 87 ~ 88%であったわけで、喫煙に関しては約 20 数%の低下とすることになる。

3. 喫煙による医学的害について

「健康面から、喫煙をどう思いますか？」との問いに対する回答の分布を表 36 に示した。

回答の分布には、男女共に有意差が認められ($p < 0.01$)、未経験者群では男性の 78%、女性の 82%が「害ばかりで良い面はない」を選んだのに対し

表 35 未成年の喫煙禁止をどう思いますか？(法規制の必要性)

		生涯喫煙経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	当然だと思う	14730	(65.2)	2545	(30.2)	149	(47.8)	17424	(55.6)
	仕方がない	5325	(23.6)	3177	(37.7)	72	(23.1)	8574	(27.4)
	吸えないのはおかしい	557	(2.5)	880	(10.5)	7	(2.2)	1444	(4.6)
	個人の自由	1870	(8.3)	1778	(21.1)	28	(9.0)	3676	(11.7)
	無回答	102	(.5)	40	(.5)	56	(17.9)	198	(.6)
	合計	22584	(100.0)	8420	(100.0)	312	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 3499.232, df = 3, p = .000$)									
女性	当然だと思う	15724	(61.8)	1339	(26.6)	102	(44.0)	17165	(55.9)
	仕方がない	6810	(26.8)	1941	(38.5)	71	(30.6)	8822	(28.7)
	吸えないのはおかしい	745	(2.9)	625	(12.4)	15	(6.5)	1385	(4.5)
	個人の自由	2074	(8.1)	1107	(22.0)	24	(10.3)	3205	(10.4)
	無回答	104	(.4)	31	(.6)	20	(8.6)	155	(.5)
	合計	25457	(100.0)	5043	(100.0)	232	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 2747.842, df = 3, p = .000$)									
全体	当然だと思う	30464	(63.4)	3887	(28.8)	251	(46.1)	34602	(55.7)
	仕方がない	12140	(25.3)	5120	(38.0)	143	(26.2)	17403	(28.0)
	吸えないのはおかしい	1302	(2.7)	1507	(11.2)	22	(4.0)	2831	(4.6)
	個人の自由	3948	(8.2)	2888	(21.4)	52	(9.5)	6888	(11.1)
	無回答	207	(.4)	72	(.5)	77	(14.1)	356	(.6)
	合計	48061	(100.0)	13474	(100.0)	545	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 6172.695, df = 3, p = .000$)									

て、経験者群では、それを選んだ者は、男女共に 58 ~ 59% であり、「害もあるが良い面もある」を選んだ者が 35 ~ 36% いた。

2. 生涯喫煙経験と日常生活の規則性について

(1) 起床時間について

「起床時間は、ほぼ一定していますか？」との問いに対する回答の関係を表37に示した。

男女ともに、非経験者群では83~86%の者が「一定している」を選んだのに対して、経験者群では、それを選んだ者は73%であった。男女共に、経験者群の起床時間は非経験者群のそれに比べて、有意 ($p < 0.01$) に乱れていた。

表 37 起床時間は一定していますか？

		生涯喫煙経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	はい	18907	(83.7)	6134	(72.9)	244	(78.2)	25285	(80.7)
	いいえ	3618	(16.0)	2270	(27.0)	66	(21.2)	5954	(19.0)
	無回答	59	(.3)	16	(.2)	2	(.6)	77	(.2)
	合計	22584	(100.0)	8420	(100.0)	312	(100.0)	31316	(100.0)
		$(\chi^2 = 476.025, df = 1, p = .000)$							
女性	はい	21979	(86.3)	3703	(73.4)	192	(82.8)	25874	(84.2)
	いいえ	3415	(13.4)	1326	(26.3)	39	(16.8)	4780	(15.6)
	無回答	63	(.2)	14	(.3)	1	(.4)	78	(.3)
	合計	25457	(100.0)	5043	(100.0)	232	(100.0)	30732	(100.0)
		$(\chi^2 = 532.567, df = 1, p = .000)$							
全体	はい	40899	(85.1)	9843	(73.1)	437	(80.2)	51179	(82.4)
	いいえ	7039	(14.6)	3600	(26.7)	105	(19.3)	10744	(17.3)
	無回答	123	(.3)	31	(.2)	3	(.6)	157	(.3)
	合計	48061	(100.0)	13474	(100.0)	545	(100.0)	62080	(100.0)
		$(\chi^2 = 1072.108, df = 1, p = .000)$							

表 38 就寝時間は一定していますか？

		生涯喫煙経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	はい	12452	(55.1)	3353	(39.8)	161	(51.6)	15966	(51.0)
	いいえ	10029	(44.4)	5040	(59.9)	146	(46.8)	15215	(48.6)
	無回答	103	(.5)	27	(.3)	5	(1.6)	135	(.4)
	合計	22584	(100.0)	8420	(100.0)	312	(100.0)	31316	(100.0)
		$(\chi^2 = 583.025, df = 1, p = .000)$							
女性	はい	13442	(52.8)	1756	(34.8)	129	(55.6)	15327	(49.9)
	いいえ	11914	(46.8)	3260	(64.6)	101	(43.5)	15275	(49.7)
	無回答	101	(.4)	27	(.5)	2	(.9)	130	(.4)
	合計	25457	(100.0)	5043	(100.0)	232	(100.0)	30732	(100.0)
		$(\chi^2 = 543.022, df = 1, p = .000)$							
全体	はい	25902	(53.9)	5112	(37.9)	290	(53.2)	31304	(50.4)
	いいえ	21954	(45.7)	8307	(61.7)	248	(45.5)	30509	(49.1)
	無回答	205	(.4)	55	(.4)	7	(1.3)	267	(.4)
	合計	48061	(100.0)	13474	(100.0)	545	(100.0)	62080	(100.0)
		$(\chi^2 = 1077.324, df = 1, p = .000)$							

「シンナー遊び」経験者群では、40%台の者が「一定していない」を選んでいて(表 20)が、生涯喫煙者群では 27%であり、生涯喫煙者群は「シンナー遊び」経験者群ほどは乱れていないと解釈できる。

(2)就床時間について

「就床時間は、ほぼ一定していますか?」との問いに対する回答の関係を表38に示した。

男女ともに、非経験者群では53~55%の者が「一定している」と答えたのに対して、経験者群では、約60~65%の者が一定していないと答えた。

男女共に、経験者群の就床時間は非経験者群のそれに比べて、有意 ($p<0.01$) に乱れていた。

「シンナー遊び」経験者群では、63~73%(表 21)の者が「一定していない」を選んでいて、生涯喫煙者群では 60~65%であり、「シンナー遊び」経験者群とさほど差がなかった。

(3)朝食について

「毎朝、朝食を食べていますか?」との問いに

対する回答の分布を表39に示した。

非経験者群では男女ともに86%~87%の者が「ほとんど毎日食べている」を選んだのに対して、経験者群では、男女ともに「ほとんど毎日食べている」を選んだ者は70~72%であった。

男女共に、経験者群では、非経験者群に比べて、朝食頻度が有意 ($p<0.01$) に低かった。

しかし、「シンナー遊び」経験者群では、「ほとんど毎日食べている」を選んだ者は 58~64%(表 22)であり、生涯喫煙者群での朝食頻度は、「シンナー遊び」経験者群よりはまだ高いと言える。

2. 喫煙経験と学校生活について

(1)学校生活について

「あなたにとって、学校生活は次のどれですか?」との問いに関する関係を表40に示した。

男女共に、経験者群と非経験者群とでは、回答の分布に有意差 ($p<0.01$) が認められ、「まったく楽しくない」を選んだ者は、非経験者群では男女共に3%であり、経験者群では男女共に7%であり、経験者群に「楽しくない」傾向の者が有意に多い

表 39 毎朝、朝食を食べますか?

	生涯喫煙経験						全体	
	なし		あり		無回答			
男性	ほとんど毎日食べている	19507 (86.4)	6055 (71.9)	239 (76.6)	25801 (82.4)			
	時々食べる	2018 (8.9)	1446 (17.2)	53 (17.0)	3517 (11.2)			
	ほとんど食べない	1012 (4.5)	885 (10.5)	18 (5.8)	1915 (6.1)			
	無回答	47 (.2)	34 (.4)	2 (.6)	83 (.3)			
	合計	22584 (100.0)	8420 (100.0)	312 (100.0)	31316 (100.0)	($\chi^2=893.366$, $df=2$, $p=.000$)		
女性	ほとんど毎日食べている	22139 (87.0)	3526 (69.9)	191 (82.3)	25856 (84.1)			
	時々食べる	2254 (8.9)	901 (17.9)	25 (10.8)	3180 (10.3)			
	ほとんど食べない	1011 (4.0)	607 (12.0)	14 (6.0)	1632 (5.3)			
	無回答	53 (.2)	9 (.2)	2 (.9)	64 (.2)			
	合計	25457 (100.0)	5043 (100.0)	232 (100.0)	30732 (100.0)	($\chi^2=991.766$, $df=2$, $p=.000$)		
全体	ほとんど毎日食べている	41661 (86.7)	9589 (71.2)	431 (79.1)	51681 (83.2)			
	時々食べる	4274 (8.9)	2347 (17.4)	78 (14.3)	6699 (10.8)			
	ほとんど食べない	2026 (4.2)	1494 (11.1)	32 (5.9)	3552 (5.7)			
	無回答	100 (.2)	44 (.3)	4 (.7)	148 (.2)			
	合計	48061 (100.0)	13474 (100.0)	545 (100.0)	62080 (100.0)	($\chi^2=1885.357$, $df=2$, $p=.000$)		

表 40 あなたにとって学校生活は？

	生涯喫煙経験						全体	
	なし		あり		無回答			
男性								
とても楽しい	7505	(33.2)	2233	(26.5)	89	(28.5)	9827	(31.4)
どちらかと言えば楽しい	11407	(50.5)	4090	(48.6)	153	(49.0)	15650	(50.0)
あまり楽しくない	2896	(12.8)	1458	(17.3)	53	(17.0)	4407	(14.1)
全く楽しくない	750	(3.3)	621	(7.4)	16	(5.1)	1387	(4.4)
無回答	26	(.1)	18	(.2)	1	(.3)	45	(.1)
合計	22584	(100.0)	8420	(100.0)	312	(100.0)	31316	(100.0)
					($\chi^2=$	408.869,	df= 3,	p=.000)
女性								
とても楽しい	8905	(35.0)	1352	(26.8)	71	(30.6)	10328	(33.6)
どちらかと言えば楽しい	12099	(47.5)	2293	(45.5)	120	(51.7)	14512	(47.2)
あまり楽しくない	3659	(14.4)	1043	(20.7)	31	(13.4)	4733	(15.4)
全く楽しくない	740	(2.9)	344	(6.8)	9	(3.9)	1093	(3.6)
無回答	54	(.2)	11	(.2)	1	(.4)	66	(.2)
合計	25457	(100.0)	5043	(100.0)	232	(100.0)	30732	(100.0)
					($\chi^2=$	377.508,	df= 3,	p=.000)
全体								
とても楽しい	16415	(34.2)	3588	(26.6)	160	(29.4)	20163	(32.5)
どちらかと言えば楽しい	23511	(48.9)	6385	(47.4)	274	(50.3)	30170	(48.6)
あまり楽しくない	6561	(13.7)	2503	(18.6)	84	(15.4)	9148	(14.7)
全く楽しくない	1494	(3.1)	967	(7.2)	25	(4.6)	2486	(4.0)
無回答	80	(.2)	31	(.2)	2	(.4)	113	(.2)
合計	48061	(100.0)	13474	(100.0)	545	(100.0)	62080	(100.0)
					($\chi^2=$	797.506,	df= 3,	p=.000)

表 41 クラブ活動に参加していますか？

	生涯喫煙経験						全体	
	なし		あり		無回答			
男性								
積極的に参加している	16141	(71.5)	5131	(60.9)	192	(61.5)	21464	(68.5)
消極的に参加している	2967	(13.1)	1431	(17.0)	51	(16.3)	4449	(14.2)
参加していない	3310	(14.7)	1792	(21.3)	69	(22.1)	5171	(16.5)
無回答	166	(.7)	66	(.8)			232	(.7)
合計	22584	(100.0)	8420	(100.0)	312	(100.0)	31316	(100.0)
					($\chi^2=$	327.234,	df= 2,	p=.000)
女性								
積極的に参加している	17616	(69.2)	2644	(52.4)	145	(62.5)	20405	(66.4)
消極的に参加している	3814	(15.0)	1024	(20.3)	35	(15.1)	4873	(15.9)
参加していない	3776	(14.8)	1325	(26.3)	49	(21.1)	5150	(16.8)
無回答	251	(1.0)	50	(1.0)	3	(1.3)	304	(1.0)
合計	25457	(100.0)	5043	(100.0)	232	(100.0)	30732	(100.0)
					($\chi^2=$	582.866,	df= 2,	p=.000)
全体								
積極的に参加している	33764	(70.3)	7781	(57.7)	338	(62.0)	41883	(67.5)
消極的に参加している	6787	(14.1)	2457	(18.2)	86	(15.8)	9330	(15.0)
参加していない	7092	(14.8)	3119	(23.1)	118	(21.7)	10329	(16.6)
無回答	418	(.9)	117	(.9)	3	(.6)	538	(.9)
合計	48061	(100.0)	13474	(100.0)	545	(100.0)	62080	(100.0)
					($\chi^2=$	808.880,	df= 2,	p=.000)

という解釈は弱いながらも成り立つ。

しかし、「シンナー遊び」経験者群のそれぞれ13～4%、21～22%（表23）とは大きく異なっていた。

(2) クラブ活動について

「放課後のクラブ活動（部活）に参加していますか？」との問いに対する回答の関係を表41に示した。

男女共に、経験者群と非経験者群との間には、回答の分布に有意差（ $p < 0.01$ ）が認められ、非経験者群で「参加していない」を選んだ者は男女共に15%であったのに対して、経験者群では、男子

で22%、女子で26%の者が「参加していない」を選んだ。

経験者群で、放課後のクラブ活動（部活）に参加していない者の割合が有意に多い傾向にあると解釈される。しかしここでも、「シンナー遊び」経験者群のそれぞれは、30%、39%（表24）であり、大きく異なっていた。

3. 生涯喫煙経験と家庭生活について

(1) 家族との夕食頻度

「夕食を週何回くらい家族全員で食べますか？」との問いに関する関係を表42に、また「母親と週

表 42 週何回、家族全員で夕食を食べますか？

		生涯喫煙経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	ほとんど毎日	6941	(30.7)	2291	(27.2)	103	(33.0)	9335	(29.8)
	5～6回	2642	(11.7)	859	(10.2)	29	(9.3)	3530	(11.3)
	4回前後	2495	(11.0)	899	(10.7)	35	(11.2)	3429	(10.9)
	3回前後	2159	(9.6)	723	(8.6)	27	(8.7)	2909	(9.3)
	2回前後	4326	(19.2)	1370	(16.3)	46	(14.7)	5742	(18.3)
	ほとんど食べない	3817	(16.9)	2190	(26.0)	67	(21.5)	6074	(19.4)
	無回答	204	(.9)	88	(1.0)	5	(1.6)	297	(.9)
	合計	22584	(100.0)	8420	(100.0)	312	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 335.375, df = 5, p = .000$)									
女性	ほとんど毎日	8218	(32.3)	1337	(26.5)	76	(32.8)	9631	(31.3)
	5～6回	2908	(11.4)	477	(9.5)	31	(13.4)	3416	(11.1)
	4回前後	2606	(10.2)	508	(10.1)	25	(10.8)	3139	(10.2)
	3回前後	2224	(8.7)	444	(8.8)	18	(7.8)	2686	(8.7)
	2回前後	4788	(18.8)	709	(14.1)	43	(18.5)	5540	(18.0)
	ほとんど食べない	4474	(17.6)	1527	(30.3)	35	(15.1)	6036	(19.6)
	無回答	239	(.9)	41	(.8)	4	(1.7)	284	(.9)
	合計	25457	(100.0)	5043	(100.0)	232	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 457.091, df = 5, p = .000$)									
全体	ほとんど毎日	15163	(31.5)	3630	(26.9)	179	(32.8)	18972	(30.6)
	5～6回	5551	(11.5)	1337	(9.9)	60	(11.0)	6948	(11.2)
	4回前後	5104	(10.6)	1408	(10.4)	60	(11.0)	6572	(10.6)
	3回前後	4383	(9.1)	1168	(8.7)	45	(8.3)	5596	(9.0)
	2回前後	9121	(19.0)	2081	(15.4)	89	(16.3)	11291	(18.2)
	ほとんど食べない	8295	(17.3)	3719	(27.6)	103	(18.9)	12117	(19.5)
	無回答	444	(.9)	131	(1.0)	9	(1.7)	584	(.9)
	合計	48061	(100.0)	13474	(100.0)	545	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 749.633, df = 5, p = .000$)									

何回くらい夕食を食べますか？」「父親と週何回くらい夕食を食べますか？」のと問いに対する関係を、それぞれ表43、表44に示した。

すべての場合において、回答の分布には有意差 ($p < 0.01$) が認められ、生涯喫煙経験者で家族全員との夕食頻度、母親との夕食頻度、父親との夕食頻度が低かった。しかし、その程度は、有機溶剤乱用経験の有無による場合よりは小さかった (表25~27参照)。

なお、ここでも有機溶剤乱用経験の有無による

の場合と同様に、「父親との夕食頻度」は、「家族全員での夕食頻度」より低く、この論理的矛盾は、我が国の父親が置かれた社会状況を反映していると同時に、家族全員での夕食と言ったときに、中学生の解釈では、父親は既に含まれていない傾向が強いことを再度示していると解釈できる。

いずれにしても、経験者群では、非経験者群に比べて、家族との夕食頻度が有意 ($p < 0.01$) に少ないと解釈できる。

表 43 週何回、母親と夕食を食べますか？

		生涯喫煙経験			全体				
		なし	あり	無回答					
男性	ほとんど毎日	14293	(63.3)	4449	(52.8)	182	(58.3)	18924	(60.4)
	5 ~ 6回	2826	(12.5)	1039	(12.3)	39	(12.5)	3904	(12.5)
	4回前後	1788	(7.9)	849	(10.1)	28	(9.0)	2665	(8.5)
	3回前後	986	(4.4)	467	(5.5)	17	(5.4)	1470	(4.7)
	2回前後	891	(3.9)	434	(5.2)	14	(4.5)	1339	(4.3)
	ほとんど食べない	1061	(4.7)	747	(8.9)	16	(5.1)	1824	(5.8)
	母親がいない	350	(1.5)	274	(3.3)	7	(2.2)	631	(2.0)
	無回答	389	(1.7)	161	(1.9)	9	(2.9)	559	(1.8)
	合計	22584	(100.0)	8420	(100.0)	312	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 456.108, df = 6, p = .000$)									
女性	ほとんど毎日	17804	(69.9)	2731	(54.2)	158	(68.1)	20693	(67.3)
	5 ~ 6回	2407	(9.5)	571	(11.3)	28	(12.1)	3006	(9.8)
	4回前後	1633	(6.4)	434	(8.6)	11	(4.7)	2078	(6.8)
	3回前後	870	(3.4)	279	(5.5)	3	(1.3)	1152	(3.7)
	2回前後	900	(3.5)	236	(4.7)	12	(5.2)	1148	(3.7)
	ほとんど食べない	989	(3.9)	473	(9.4)	10	(4.3)	1472	(4.8)
	母親がいない	437	(1.7)	220	(4.4)	6	(2.6)	663	(2.2)
	無回答	417	(1.6)	99	(2.0)	4	(1.7)	520	(1.7)
	合計	25457	(100.0)	5043	(100.0)	232	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 668.682, df = 6, p = .000$)									
全体	ほとんど毎日	32107	(66.8)	7186	(53.3)	341	(62.6)	39634	(63.8)
	5 ~ 6回	5236	(10.9)	1611	(12.0)	67	(12.3)	6914	(11.1)
	4回前後	3424	(7.1)	1284	(9.5)	39	(7.2)	4747	(7.6)
	3回前後	1857	(3.9)	746	(5.5)	20	(3.7)	2623	(4.2)
	2回前後	1791	(3.7)	670	(5.0)	26	(4.8)	2487	(4.0)
	ほとんど食べない	2052	(4.3)	1220	(9.1)	26	(4.8)	3298	(5.3)
	母親がいない	788	(1.6)	495	(3.7)	13	(2.4)	1296	(2.1)
	無回答	806	(1.7)	262	(1.9)	13	(2.4)	1081	(1.7)
	合計	48061	(100.0)	13474	(100.0)	545	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 1163.512, df = 6, p = .000$)									

(2) 一日での大人不在の時間について

「学校、塾、習い事、運動での時間以外、大人が不在の状態、毎日平均どの程度の時間を過ごしますか？」との問いに対する回答の分布を表45に示した。

経験者群、非経験者群間で男女ともに統計学的有意差 ($p < 0.01$) が認められ、非経験者群で「3時間以上」を選んだ者は、男女ともに11~12%で

あるのに対して、経験者群では男女ともに20~21%であった。

経験者群で大人不在の時間が有意に長い傾向が示唆された。

この傾向は、有機溶剤乱用の経験の有無の場合と同様であるが、「シンナー遊び」経験者群で「3時間以上」を選んだ者の割合は、男子で24%、女子で31% (表28) であり、女性の喫煙経験者の場合には約10%少なかった。

表 44 週何回、父親と夕食を食べますか？

		生涯喫煙経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	ほとんど毎日	6509	(28.8)	2145	(25.5)	100	(32.1)	8754	(28.0)
	5~6回	2858	(12.7)	937	(11.1)	36	(11.5)	3831	(12.2)
	4回前後	2744	(12.2)	960	(11.4)	34	(10.9)	3738	(11.9)
	3回前後	2170	(9.6)	731	(8.7)	31	(9.9)	2932	(9.4)
	2回前後	3593	(15.9)	1138	(13.5)	37	(11.9)	4768	(15.2)
	ほとんど食べない	2468	(10.9)	1393	(16.5)	38	(12.2)	3899	(12.5)
	父親がいない	1810	(8.0)	944	(11.2)	26	(8.3)	2780	(8.9)
	無回答	432	(1.9)	172	(2.0)	10	(3.2)	614	(2.0)
	合計	22584	(100.0)	8420	(100.0)	312	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 293.890$, $df = 6$, $p = .000$)									
女性	ほとんど毎日	7458	(29.3)	1174	(23.3)	73	(31.5)	8705	(28.3)
	5~6回	3084	(12.1)	501	(9.9)	27	(11.6)	3612	(11.8)
	4回前後	2770	(10.9)	512	(10.2)	21	(9.1)	3303	(10.7)
	3回前後	2239	(8.8)	403	(8.0)	19	(8.2)	2661	(8.7)
	2回前後	4052	(15.9)	617	(12.2)	30	(12.9)	4699	(15.3)
	ほとんど食べない	2882	(11.3)	1000	(19.8)	35	(15.1)	3917	(12.7)
	父親がいない	2513	(9.9)	738	(14.6)	24	(10.3)	3275	(10.7)
	無回答	459	(1.8)	98	(1.9)	3	(1.3)	560	(1.8)
	合計	25457	(100.0)	5043	(100.0)	232	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 442.749$, $df = 6$, $p = .000$)									
全体	ほとんど毎日	13971	(29.1)	3322	(24.7)	173	(31.7)	17466	(28.1)
	5~6回	5944	(12.4)	1438	(10.7)	63	(11.6)	7445	(12.0)
	4回前後	5517	(11.5)	1474	(10.9)	55	(10.1)	7046	(11.3)
	3回前後	4412	(9.2)	1136	(8.4)	50	(9.2)	5598	(9.0)
	2回前後	7648	(15.9)	1756	(13.0)	67	(12.3)	9471	(15.3)
	ほとんど食べない	5352	(11.1)	2393	(17.8)	74	(13.6)	7819	(12.6)
	父親がいない	4324	(9.0)	1683	(12.5)	50	(9.2)	6057	(9.8)
	無回答	893	(1.9)	272	(2.0)	13	(2.4)	1178	(1.9)
	合計	48061	(100.0)	13474	(100.0)	545	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 663.642$, $df = 6$, $p = .000$)									

(3)親との相談について

「悩みごとがある時、親と相談する方だと思いますか？」との問いに対する回答の分布を表46に示した。

男女ともに、回答の分布に有意差 ($p<0.01$) が認められ、非経験者群で「ほとんど相談しない方である」を選んだ者は、男子で39%、女子で32%であるのに対して、経験者群では男女共に48～51%であった。

この結果は、有機溶剤乱用の有無による場合(表29)と、さほど違いがなかった。

同時に、喫煙経験の有無に関わらず、男女ともに「よく相談する方である」と答えた者が少ないのも、有機溶剤乱用の有無による場合と同じであった。

4．喫煙と友人関係について

(1)遊び友達について

「親しく遊べる友人がいますか？」との問いに対する回答の分布を表47に示した。

男女ともに、経験者群と非経験者群の間には実際上、ほとんど差がなかった。しかし、女性では、経験者群の方で、「親しく遊べる友人がいない」を選んだ生徒が多い傾向が伺われた($p<0.01$)。

(2)相談事のできる友人について

「相談事のできる友人がいますか？」との問いに対する回答の分布を表48に示した。

男女共に、経験者群・非経験者群間での%の違いはさほどなかったが、男性では喫煙経験者群の方

表 45 一日の大人不在の平均時間

		生涯喫煙経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	なし	8121	(36.0)	2507	(29.8)	97	(31.1)	10725	(34.2)
	1 時間未満	4607	(20.4)	1350	(16.0)	56	(17.9)	6013	(19.2)
	1 時間～ 2 時間	4328	(19.2)	1578	(18.7)	53	(17.0)	5959	(19.0)
	2 時間～ 3 時間	2687	(11.9)	1199	(14.2)	51	(16.3)	3937	(12.6)
	3 時間以上	2691	(11.9)	1726	(20.5)	51	(16.3)	4468	(14.3)
	無回答	150	(.7)	60	(.7)	4	(1.3)	214	(.7)
	合計	22584	(100.0)	8420	(100.0)	312	(100.0)	31316	(100.0)
								($\chi^2= 473.986, df= 4, p=.000$)	
女性	なし	11059	(43.4)	1575	(31.2)	87	(37.5)	12721	(41.4)
	1 時間未満	4334	(17.0)	667	(13.2)	37	(15.9)	5038	(16.4)
	1 時間～ 2 時間	4313	(16.9)	857	(17.0)	41	(17.7)	5211	(17.0)
	2 時間～ 3 時間	2777	(10.9)	743	(14.7)	26	(11.2)	3546	(11.5)
	3 時間以上	2780	(10.9)	1158	(23.0)	36	(15.5)	3974	(12.9)
	無回答	194	(.8)	43	(.9)	5	(2.2)	242	(.8)
	合計	25457	(100.0)	5043	(100.0)	232	(100.0)	30732	(100.0)
								($\chi^2= 715.081, df= 4, p=.000$)	
全体	なし	19187	(39.9)	4085	(30.3)	185	(33.9)	23457	(37.8)
	1 時間未満	8944	(18.6)	2021	(15.0)	93	(17.1)	11058	(17.8)
	1 時間～ 2 時間	8644	(18.0)	2435	(18.1)	94	(17.2)	11173	(18.0)
	2 時間～ 3 時間	5467	(11.4)	1942	(14.4)	77	(14.1)	7486	(12.1)
	3 時間以上	5474	(11.4)	2887	(21.4)	87	(16.0)	8448	(13.6)
	無回答	345	(.7)	104	(.8)	9	(1.7)	458	(.7)
	合計	48061	(100.0)	13474	(100.0)	545	(100.0)	62080	(100.0)
								($\chi^2= 1194.960, df= 4, p=.000$)	

表 46 親と相談するか

		生涯喫煙経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	よく相談する	2115	(9.4)	420	(5.0)	23	(7.4)	2558	(8.2)
	どちらかと言えばする	5018	(22.2)	1172	(13.9)	56	(17.9)	6246	(19.9)
	どちらかと言えばしない	6377	(28.2)	2349	(27.9)	65	(20.8)	8791	(28.1)
	ほとんど相談しない	8872	(39.3)	4312	(51.2)	108	(34.6)	13292	(42.4)
	親がいない	45	(.2)	69	(.8)	2	(.6)	116	(.4)
	無回答	157	(.7)	98	(1.2)	58	(18.6)	313	(1.0)
	合計	22584	(100.0)	8420	(100.0)	312	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 626.147, df = 4, p = .000$)									
女性	よく相談する方である	3850	(15.1)	488	(9.7)	25	(10.8)	4363	(14.2)
	どちらかと言えばする	6953	(27.3)	988	(19.6)	46	(19.8)	7987	(26.0)
	どちらかと言えばしない	6291	(24.7)	1292	(25.6)	73	(31.5)	7656	(24.9)
	ほとんど相談しない	8158	(32.0)	2176	(43.1)	66	(28.4)	10400	(33.8)
	親がいない	57	(.2)	53	(1.1)	4	(1.7)	114	(.4)
	無回答	148	(.6)	46	(.9)	18	(7.8)	212	(.7)
	合計	25457	(100.0)	5043	(100.0)	232	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 419.432, df = 4, p = .000$)									
全体	よく相談する	5968	(12.4)	910	(6.8)	48	(8.8)	6926	(11.2)
	どちらかと言えばする	11977	(24.9)	2160	(16.0)	102	(18.7)	14239	(22.9)
	どちらかと言えばしない	12672	(26.4)	3642	(27.0)	138	(25.3)	16452	(26.5)
	ほとんど相談しない	17037	(35.4)	6494	(48.2)	175	(32.1)	23706	(38.2)
	親がいない	102	(.2)	123	(.9)	6	(1.1)	231	(.4)
	無回答	305	(.6)	145	(1.1)	76	(13.9)	526	(.8)
	合計	48061	(100.0)	13474	(100.0)	545	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 1257.203, df = 4, p = .000$)									

表 47 親しく遊べる友人はいますか？

		生涯喫煙経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	いる	21637	(95.8)	8094	(96.1)	298	(95.5)	30029	(95.9)
	いない	900	(4.0)	311	(3.7)	11	(3.5)	1222	(3.9)
	無回答	47	(.2)	15	(.2)	3	(1.0)	65	(.2)
	合計	22584	(100.0)	8420	(100.0)	312	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 1.400, df = 1, p = .237$)									
女性	いる	24392	(95.8)	4783	(94.8)	23	(96.1)	29398	(95.7)
	いない	1004	(3.9)	245	(4.9)	8	(3.4)	1257	(4.1)
	無回答	61	(.2)	15	(.3)	1	(.4)	77	(.3)
	合計	25457	(100.0)	5043	(100.0)	232	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 9.011, df = 1, p = .003$)									
全体	いる	46046	(95.8)	12885	(95.6)	522	(95.8)	59453	(95.8)
	いない	1907	(4.0)	558	(4.1)	19	(3.5)	2484	(4.0)
	無回答	108	(.2)	31	(.2)	4	(.7)	143	(.2)
	合計	48061	(100.0)	13474	(100.0)	545	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = .825, df = 1, p = .364$)									

に「いる」と答えた者が有意 ($p < 0.01$) に多かった。

3. 飲酒について

わが国では、中学生といえども、飲酒の生涯経験率(これまでに1回でも飲酒したことのある率)は、男子では約75%、女子では68%と高く⁷⁾⁸⁾¹³⁾、飲酒機会から見たその内容は、冠婚葬祭時及び家で家族と共にの飲酒が多い⁷⁾⁸⁾¹³⁾こともあり、飲酒の生涯経験から中学生の飲酒を論じても、ほとんど意味がないため⁷⁾⁸⁾、本報告書では、飲酒機会ごとの生涯経験率を表49、「シンナー遊び」の経験と飲酒の経験・機会を表50に示すのみとした。

飲酒の生涯経験者の割合は、機会に関わらず、男女ともに、学年が進むにつれて、増加していた。

機会別では、男女共に「冠婚葬祭時」「家で家族と一緒に」での飲酒経験率が高いが、学年による伸び率は、「その他の機会に家族と飲んだことがある」「その他の機会に仲間と飲んだことがある」を選んだ者の割合が、3年生で急増していた(表49)。

4. 「シンナー遊び」と他の依存性薬物使用との関係

1. 「シンナー遊び」と飲酒との関係

「シンナー遊び」の経験の有無と生涯飲酒経験率及びその機会との関係を表50に示した。

男女共に、飲酒経験のない者は「シンナー遊び」未経験者群で有意 ($p < 0.01$) に多かった。逆に、男女とも、すべての機会で、「シンナー遊び」経験者群の方で、飲酒経験率は高かった。

特に、「シンナー遊び」経験者群では、男女共に、「その他の機会に家族と飲んだことがある」「クラス会、打ち上げ、友人とのパーティーの時に、仲間と飲んだことがある」「その他の機会に仲間と飲んだことがある」を選んだ者の割合が「シンナー遊び」未経験者群に比べて、著しく多かった。

家族の要因は解釈が難しいが、上記の結果は、「シンナー遊び」における「仲間」の存在とその影響力の大きさの一側面を物語っていると解釈される。

表 48 相談事の出来る友人はいますか？

		生涯喫煙経験			全体	
		なし	あり	無回答		
男性	いる	18137 (80.3)	6973 (82.8)	234 (75.0)	25344 (80.9)	
	いない	4343 (19.2)	1404 (16.7)	70 (22.4)	5817 (18.6)	
	無回答	104 (.5)	43 (.5)	8 (2.6)	155 (.5)	
	合計	22584 (100.0)	8420 (100.0)	312 (100.0)	31316 (100.0)	
($\chi^2 = 26.373, df = 1, p = .000$)						
女性	いる	22817 (89.6)	4504 (89.3)	209 (90.1)	27530 (89.6)	
	いない	2538 (10.0)	514 (10.2)	21 (9.1)	3073 (10.0)	
	無回答	102 (.4)	25 (.5)	2 (.9)	129 (.4)	
	合計	25457 (100.0)	5043 (100.0)	232 (100.0)	30732 (100.0)	
($\chi^2 = .252, df = 1, p = .616$)						
全体	いる	40970 (85.2)	11483 (85.2)	444 (81.5)	52897 (85.2)	
	いない	6885 (14.3)	1922 (14.3)	91 (16.7)	8898 (14.3)	
	無回答	206 (.4)	69 (.5)	10 (1.8)	285 (.5)	
	合計	48061 (100.0)	13474 (100.0)	545 (100.0)	62080 (100.0)	
($\chi^2 = .021, df = 1, p = .886$)						

2. 「シンナー遊び」と喫煙との関係

「シンナー - 遊び」の経験の有無と、喫煙経験の有無との関係を表51に示した。

「シンナー - 遊び」の経験の有無と喫煙経験の有無の間には、男女共に有意差が認められた ($P < 0.01$)。つまり、喫煙経験は、「シンナー遊び」経験者群に有意に多い。「シンナー - 遊び」未経験者

群での喫煙経験者は、男子で26%、女子で16%であるのに対して、「シンナー遊び」経験者群では、男子で70%、女子で68%と、両群間には著しい違いがあった。

一方、喫煙経験の有無から「シンナー遊び」の経験の有無を見たのが表 52 である。喫煙経験のない者の中で「シンナー遊び」の経験のある者は、男性で 0.6%、女性で 0.3%に過ぎないが、喫煙経

表 49 飲酒の生涯経験率

	1 年生		2 年生		3 年生		全体		
男性									
飲んだことなし	3277	(32.7)	2821	(27.1)	2361	(21.7)	8459	(27.0)	($\chi^2 = 325.570, df= 2, p= .000$)
冠婚葬祭	4030	(40.2)	4635	(44.5)	5136	(47.2)	13801	(44.1)	($\chi^2 = 101.227, df= 2, p= .000$)
家で家族と	3772	(37.6)	4273	(41.1)	4861	(44.7)	12906	(41.2)	($\chi^2 = 103.309, df= 2, p= .000$)
その他家族と	569	(5.7)	715	(6.9)	1413	(13.0)	2697	(8.6)	($\chi^2 = 411.443, df= 2, p= .000$)
クラス会など	250	(2.5)	358	(3.4)	719	(6.6)	1327	(4.2)	($\chi^2 = 240.462, df= 2, p= .000$)
他の機会に仲間と	363	(3.6)	902	(8.7)	1834	(16.9)	3099	(9.9)	($\chi^2 = 1046.334, df= 2, p= .000$)
一人で	571	(5.7)	889	(8.5)	1482	(13.6)	2942	(9.4)	($\chi^2 = 395.211, df= 2, p= .000$)
その他の機会	73	(.7)	81	(.8)	52	(.5)	206	(.7)	($\chi^2 = 8.547, df= 2, p= .014$)
無回答	66	(.7)	50	(.5)	31	(.3)	147	(.5)	
合計	10028	(100.0)	10408	(100.0)	10880	(100.0)	31316	(100.0)	
女性									
飲んだことなし	4021	(40.6)	3414	(33.8)	2899	(27.0)	10334	(33.6)	($\chi^2 = 429.509, df= 2, p= .000$)
冠婚葬祭	3573	(36.1)	4006	(39.7)	4626	(43.1)	12205	(39.7)	($\chi^2 = 105.296, df= 2, p= .000$)
家で家族と	3697	(37.3)	4283	(42.4)	4992	(46.6)	12972	(42.2)	($\chi^2 = 177.129, df= 2, p= .000$)
その他家族と	337	(3.4)	570	(5.6)	1230	(11.5)	2137	(7.0)	($\chi^2 = 556.543, df= 2, p= .000$)
クラス会など	225	(2.3)	349	(3.5)	638	(6.0)	1212	(3.9)	($\chi^2 = 192.692, df= 2, p= .000$)
他の機会に仲間と	346	(3.5)	752	(7.4)	1505	(14.0)	2603	(8.5)	($\chi^2 = 756.581, df= 2, p= .000$)
一人で	413	(4.2)	599	(5.9)	938	(8.7)	1950	(6.3)	($\chi^2 = 185.063, df= 2, p= .000$)
その他の機会	52	(.5)	39	(.4)	38	(.4)	129	(.4)	($\chi^2 = 4.038, df= 2, p= .133$)
無回答	50	(.5)	28	(.3)	27	(.3)	105	(.3)	
合計	9909	(100.0)	10101	(100.0)	10722	(100.0)	30732	(100.0)	
全体									
飲んだことなし	7301	(36.6)	6235	(30.4)	5263	(24.3)	18799	(30.3)	($\chi^2 = 751.931, df= 2, p= .000$)
冠婚葬祭	7607	(38.1)	8643	(42.1)	9772	(45.2)	26022	(41.9)	($\chi^2 = 205.771, df= 2, p= .000$)
家で家族と	7471	(37.5)	8559	(41.7)	9859	(45.6)	25889	(41.7)	($\chi^2 = 274.942, df= 2, p= .000$)
その他家族と	906	(4.5)	1286	(6.3)	2648	(12.2)	4840	(7.8)	($\chi^2 = 951.337, df= 2, p= .000$)
クラス会など	475	(2.4)	707	(3.4)	1360	(6.3)	2542	(4.1)	($\chi^2 = 433.951, df= 2, p= .000$)
他の機会に仲間と	710	(3.6)	1655	(8.1)	3344	(15.5)	5709	(9.2)	($\chi^2 = 1800.784, df= 2, p= .000$)
一人で	984	(4.9)	1490	(7.3)	2425	(11.2)	4899	(7.9)	($\chi^2 = 575.993, df= 2, p= .000$)
その他の機会	125	(.6)	120	(.6)	90	(.4)	335	(.5)	($\chi^2 = 9.857, df= 2, p= .007$)
無回答	116	(.6)	78	(.4)	58	(.3)	252	(.4)	
合計	19945	(100.0)	20516	(100.0)	21619	(100.0)	62080	(100.0)	

験のある者では、男性の4.2%、女性の3.6%に「シンナー遊び」の経験があった。

これらは、中学生にとっての喫煙が「シンナー遊び」と強い繋がりを持っていることを強く示唆するものである。

3. 「シンナー遊び」と大麻乱用との関係

(1) 大麻乱用の生涯経験率について

各学年・性別毎に大麻乱用の生涯経験率（これまでに1回でも乱用したことがある率）を表53に示した。

1996年の第1回調査¹⁰⁾、第2回調査¹³⁾同様、男子では学年による経験率の違いに有意差（ $p < 0.05$ ）が認められたが、女子では認められなかった。

表 50 「シンナー遊び」経験と飲酒の経験・機会（複数回答）

	生涯シンナー-経験						全体	
	なし		あり		無回答			
男性								
飲んだことなし	8377	(27.4)	48	(9.4)	34	(13.8)	8459	(27.0) ($\chi^2 = 82.162, df = 1, p = .000$)
冠婚葬祭	13472	(44.1)	245	(47.9)	84	(34.1)	13801	(44.1) ($\chi^2 = 3.264, df = 1, p = .071$)
家で家族と	12556	(41.1)	255	(49.9)	95	(38.6)	12906	(41.2) ($\chi^2 = 16.648, df = 1, p = .000$)
その他家族と	2534	(8.3)	146	(28.6)	17	(6.9)	2697	(8.6) ($\chi^2 = 263.737, df = 1, p = .000$)
クラス会など	1189	(3.9)	124	(24.3)	14	(5.7)	1327	(4.2) ($\chi^2 = 517.720, df = 1, p = .000$)
他の機会に仲間と	2873	(9.4)	191	(37.4)	35	(14.2)	3099	(9.9) ($\chi^2 = 444.873, df = 1, p = .000$)
一人で	2735	(8.9)	184	(36.0)	23	(9.3)	2942	(9.4) ($\chi^2 = 434.549, df = 1, p = .000$)
その他の機会	196	(.6)	8	(1.6)	2	(.8)	206	(.7) (Fisher's Exact Test $p = .020$)
無回答	89	(.3)	3	(.6)	55	(22.4)	147	(.5)
合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
女性								
飲んだことなし	10278	(33.9)	20	(7.4)	36	(22.6)	10334	(33.6) ($\chi^2 = 85.184, df = 1, p = .000$)
冠婚葬祭	12028	(39.7)	119	(43.8)	58	(36.5)	12205	(39.7) ($\chi^2 = 1.888, df = 1, p = .169$)
家で家族と	12761	(42.1)	147	(54.0)	64	(40.3)	12972	(42.2) ($\chi^2 = 15.872, df = 1, p = .000$)
その他家族と	2038	(6.7)	82	(30.1)	17	(10.7)	2137	(7.0) ($\chi^2 = 229.513, df = 1, p = .000$)
クラス会など	1133	(3.7)	70	(25.7)	9	(5.7)	1212	(3.9) ($\chi^2 = 345.499, df = 1, p = .000$)
他の機会に仲間と	2459	(8.1)	117	(43.0)	27	(17.0)	2603	(8.5) ($\chi^2 = 426.199, df = 1, p = .000$)
一人で	1832	(6.0)	105	(38.6)	13	(8.2)	1950	(6.3) ($\chi^2 = 482.184, df = 1, p = .000$)
その他の機会	126	(.4)	3	(1.1)			129	(.4) (Fisher's Exact Test $p = .108$)
無回答	85	(.3)	1	(.4)	19	(11.9)	105	(.3)
合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
全体								
飲んだことなし	18661	(30.6)	68	(8.7)	70	(17.3)	18799	(30.3) ($\chi^2 = 176.246, df = 1, p = .000$)
冠婚葬祭	25516	(41.9)	364	(46.4)	142	(35.1)	26022	(41.9) ($\chi^2 = 6.809, df = 1, p = .009$)
家で家族と	25328	(41.6)	402	(51.3)	159	(39.3)	25889	(41.7) ($\chi^2 = 30.541, df = 1, p = .000$)
その他家族と	4578	(7.5)	228	(29.1)	34	(8.4)	4840	(7.8) ($\chi^2 = 502.939, df = 1, p = .000$)
クラス会など	2325	(3.8)	194	(24.7)	23	(5.7)	2542	(4.1) ($\chi^2 = 868.036, df = 1, p = .000$)
他の機会に仲間と	5339	(8.8)	308	(39.3)	62	(15.3)	5709	(9.2) ($\chi^2 = 870.007, df = 1, p = .000$)
一人で	4573	(7.5)	290	(37.0)	36	(8.9)	4899	(7.9) ($\chi^2 = 929.529, df = 1, p = .000$)
その他の機会	322	(.5)	11	(1.4)	2	(.5)	335	(.5) (Fisher's Exact Test $p = .004$)
無回答	174	(.3)	4	(.5)	74	(18.3)	252	(.4)
合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)

生涯経験率は男子では0.6%（1年生で0.4%、2年生で0.6%、3年生で0.7%）であり、女子では0.3%（1年生で0.2%、2年生で0.3%、3年生で0.3%）であった。全体では0.4%（0.3%、0.5%、0.5%）であった。ちなみに、1996年の第1回調査、1998年の第2回調査では、順に、それぞれ男性では0.7%（0.4%、0.7%、0.8%）、0.9（0.7、0.8、1.0）であり、女性では0.3%（0.3%、0.3%、0.3%）、0.5（0.5、0.4、0.5）であり、全体では0.5%（0.4%、0.5%、0.6%）、0.7（0.6、0.6、0.8）であった。単純に比較すれば、この4年間で中学生の大麻乱用生涯経験率は一旦増加

表 51 「シナ-遊び」経験と喫煙経験の関係

		生涯シナ-経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	喫煙経験なし	22339	(73.1)	146	(28.6)	99	(40.2)	22584	(72.1)
	喫煙経験あり	7977	(26.1)	357	(69.9)	86	(35.0)	8420	(26.9)
	無回答	243	(.8)	8	(1.6)	61	(24.8)	312	(1.0)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 500.236, df = 1, p = .000$)									
女性	喫煙経験なし	25279	(83.4)	87	(32.0)	91	(57.2)	25457	(82.8)
	喫煙経験あり	4817	(15.9)	184	(67.6)	42	(26.4)	5043	(16.4)
	無回答	205	(.7)	1	(.4)	26	(16.4)	232	(.8)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 525.725, df = 1, p = .000$)									
全体	喫煙経験なし	47638	(78.2)	233	(29.7)	190	(46.9)	48061	(77.4)
	喫煙経験あり	12804	(21.0)	542	(69.1)	128	(31.6)	13474	(21.7)
	無回答	449	(.7)	9	(1.1)	87	(21.5)	545	(.9)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 1066.757, df = 1, p = .000$)									

表 52 喫煙経験と「シナ-遊び」経験の関係

		生涯喫煙経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	シナ-経験なし	22339	(98.9)	7977	(94.7)	243	(77.9)	30559	(97.6)
	シナ-経験あり	146	(.6)	357	(4.2)	8	(2.6)	511	(1.6)
	無回答	99	(.4)	86	(1.0)	61	(19.6)	246	(.8)
	合計	22584	(100.0)	8420	(100.0)	312	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 500.236, df = 1, p = .000$)									
女性	シナ-経験なし	25279	(99.3)	4817	(95.5)	205	(88.4)	30301	(98.6)
	シナ-経験あり	87	(.3)	184	(3.6)	1	(.4)	272	(.9)
	無回答	91	(.4)	42	(.8)	26	(11.2)	159	(.5)
	合計	25457	(100.0)	5043	(100.0)	232	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 525.725, df = 1, p = .000$)									
全体	シナ-経験なし	47638	(99.1)	12804	(95.0)	449	(82.4)	60891	(98.1)
	シナ-経験あり	233	(.5)	542	(4.0)	9	(1.7)	784	(1.3)
	無回答	190	(.4)	128	(.9)	87	(16.0)	405	(.7)
	合計	48061	(100.0)	13474	(100.0)	545	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 1066.757, df = 1, p = .000$)									

し、その後、減少したことになる。しかし、1996年の第1回調査同様に、男女共に、全ての学年で、無回答の者の割合が経験者の割合を上回っており、相変わらず信頼性には少々疑問が残る。今回も、あくまでも参考データとして提供した。

(2) 「シンナー遊び」と大麻乱用との関係

「シンナー遊び」の経験と大麻乱用の経験との関係を表54に示した。

結果には男女ともに有意差 ($p < 0.01$) が認められ、「シンナー遊び」未経験者では、男子で0.2%、女子で0.1%の者が大麻乱用の経験があると答えたのに対して、経験者群では、男子で20.7%、女子で19.5%の者が大麻乱用の経験があると答えた。

この両群による違いは、1996年の第1回調査、1998年の第2回調査の結果と同じ傾向であり、中学生における「シンナー遊び」と大麻乱用との関係が強く示唆された。

表 53 大麻乱用の生涯経験率

		1年生		2年生		3年生		全体	
男性	大麻経験なし	9873	(98.5)	10228	(98.3)	10690	(98.3)	30791	(98.3)
	大麻経験あり	43	(.4)	61	(.6)	75	(.7)	179	(.6)
	無回答	112	(1.1)	119	(1.1)	115	(1.1)	346	(1.1)
	合計	10028	(100.0)	10408	(100.0)	10880	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 6.275, df = 2, p = .043$)									
女性	大麻経験なし	9804	(98.9)	9989	(98.9)	10595	(98.8)	30388	(98.9)
	大麻経験あり	24	(.2)	35	(.3)	31	(.3)	90	(.3)
	無回答	81	(.8)	77	(.8)	96	(.9)	254	(.8)
	合計	9909	(100.0)	10101	(100.0)	10722	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 1.864, df = 2, p = .394$)									
全体	大麻経験なし	19682	(98.7)	20222	(98.6)	21302	(98.5)	61206	(98.6)
	大麻経験あり	67	(.3)	98	(.5)	106	(.5)	271	(.4)
	無回答	196	(1.0)	196	(1.0)	211	(1.0)	603	(1.0)
	合計	19945	(100.0)	20516	(100.0)	21619	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 6.877, df = 2, p = .032$)									

表 54 「シンナー遊び」経験と大麻乱用経験

		生涯シンナー経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	大麻経験なし	30204	(98.8)	395	(77.3)	192	(78.0)	30791	(98.3)
	大麻経験あり	67	(.2)	106	(20.7)	6	(2.4)	179	(.6)
	無回答	288	(.9)	10	(2.0)	48	(19.5)	346	(1.1)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 3864.282, df = 1, p = .000$)									
女性	大麻経験なし	30051	(99.2)	216	(79.4)	121	(76.1)	30388	(98.9)
	大麻経験あり	35	(.1)	53	(19.5)	2	(1.3)	90	(.3)
	無回答	215	(.7)	3	(1.1)	36	(22.6)	254	(.8)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 3528.330, df = 1, p = .000$)									
全体	大麻経験なし	60282	(99.0)	611	(77.9)	313	(77.3)	61206	(98.6)
	大麻経験あり	103	(.2)	160	(20.4)	8	(2.0)	271	(.4)
	無回答	506	(.8)	13	(1.7)	84	(20.7)	603	(1.0)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 7531.159, df = 1, p = .000$)									

表 55 大麻を吸うことをどう思いますか？

		生涯シナ-経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	吸うべきでない	28822	(94.3)	328	(64.2)	200	(81.3)	29350	(93.7)
	少々ならかまわない	714	(2.3)	62	(12.1)	16	(6.5)	792	(2.5)
	全くかまわない	730	(2.4)	107	(20.9)	13	(5.3)	850	(2.7)
	無回答	293	(1.0)	14	(2.7)	17	(6.9)	324	(1.0)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 899.259$, df= 2 , p= .000)									
女性	吸うべきでない	28971	(95.6)	172	(63.2)	133	(83.6)	29276	(95.3)
	少々ならかまわない	703	(2.3)	44	(16.2)	11	(6.9)	758	(2.5)
	全くかまわない	374	(1.2)	53	(19.5)	6	(3.8)	433	(1.4)
	無回答	253	(.8)	3	(1.1)	9	(5.7)	265	(.9)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 886.777$, df= 2 , p= .000)									
全体	吸うべきでない	57820	(95.0)	500	(63.8)	333	(82.2)	58653	(94.5)
	少々ならかまわない	1418	(2.3)	106	(13.5)	27	(6.7)	1551	(2.5)
	全くかまわない	1106	(1.8)	161	(20.5)	19	(4.7)	1286	(2.1)
	無回答	547	(.9)	17	(2.2)	26	(6.4)	590	(1.0)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 1814.787$, df= 2 , p= .000)									

表 56 大麻を吸うと精神病状態や無動機症候群になることがあるのを知っていますか？

		生涯シナ-経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	知っている	13984	(45.8)	252	(49.3)	106	(43.1)	14342	(45.8)
	知らない	15925	(52.1)	229	(44.8)	124	(50.4)	16278	(52.0)
	無回答	650	(2.1)	30	(5.9)	16	(6.5)	696	(2.2)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 6.038$, df= 1 , p= .014)									
女性	知っている	13882	(45.8)	138	(50.7)	69	(43.4)	14089	(45.8)
	知らない	15993	(52.8)	124	(45.6)	80	(50.3)	16197	(52.7)
	無回答	426	(1.4)	10	(3.7)	10	(6.3)	446	(1.5)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 4.019$, df= 1 , p= .045)									
全体	知っている	27887	(45.8)	391	(49.9)	175	(43.2)	28453	(45.8)
	知らない	31927	(52.4)	353	(45.0)	204	(50.4)	32484	(52.3)
	無回答	1077	(1.8)	40	(5.1)	26	(6.4)	1143	(1.8)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 10.385$, df= 1 , p= .001)									

(3)大麻吸引に対する意識について

「大麻を吸うことをどう思いますか?」との問いに対する回答の分布を表55に示した。

回答の分布には、男女共に有意差 ($p < 0.01$) が認められた。「シンナー遊び」未経験者群では、男子で 94%、女子で 96%の者が「吸うべきでは

ないと思う」を選んだのに対して、「シンナー遊び」経験者群では、それを選んだ者は、男子で 64%、女子で 63%であり、男女共に 20 ~ 21%の者が「まったくかまわないと思う」を選択した。

これについては、「シンナー遊び」、喫煙、飲酒、大麻吸引、覚せい剤使用に対する意識の比較として、考察で論じたい。

表 57 覚せい剤の乱用経験 (生涯経験率)

		1 年生		2 年生		3 年生		全体	
男性	覚せい剤経験なし	9854	(98.3)	10241	(98.4)	10710	(98.4)	30805	(98.4)
	覚せい剤経験あり	45	(.4)	53	(.5)	67	(.6)	165	(.5)
	無回答	129	(1.3)	114	(1.1)	103	(.9)	346	(1.1)
	合計	10028	(100.0)	10408	(100.0)	10880	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 2.812, df = 2, p = .245$)									
女性	覚せい剤経験なし	9800	(98.9)	10007	(99.1)	10576	(98.6)	30383	(98.9)
	覚せい剤経験あり	20	(.2)	27	(.3)	27	(.3)	74	(.2)
	無回答	89	(.9)	67	(.7)	119	(1.1)	275	(.9)
	合計	9909	(100.0)	10101	(100.0)	10722	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = .968, df = 2, p = .616$)									
全体	覚せい剤経験なし	19660	(98.6)	20253	(98.7)	21303	(98.5)	61216	(98.6)
	覚せい剤経験あり	65	(.3)	82	(.4)	94	(.4)	241	(.4)
	無回答	220	(1.1)	181	(.9)	222	(1.0)	623	(1.0)
	合計	19945	(100.0)	20516	(100.0)	21619	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 3.263, df = 2, p = .196$)									

表 58 「シナー遊び」経験と覚せい剤乱用経験の関係

		生涯シナー-経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	覚せい剤経験なし	30204	(98.8)	404	(79.1)	197	(80.1)	30805	(98.4)
	覚せい剤経験あり	70	(.2)	93	(18.2)	2	(.8)	165	(.5)
	無回答	285	(.9)	14	(2.7)	47	(19.1)	346	(1.1)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = 3169.557, df = 1, p = .000$)									
女性	覚せい剤経験なし	30038	(99.1)	214	(78.7)	131	(82.4)	30383	(98.9)
	覚せい剤経験あり	22	(.1)	51	(18.8)	1	(.6)	74	(.2)
	無回答	241	(.8)	7	(2.6)	27	(17.0)	275	(.9)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = 4020.665, df = 1, p = .000$)									
全体	覚せい剤経験なし	60270	(99.0)	618	(78.8)	328	(81.0)	61216	(98.6)
	覚せい剤経験あり	93	(.2)	145	(18.5)	3	(.7)	241	(.4)
	無回答	528	(.9)	21	(2.7)	74	(18.3)	623	(1.0)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = 69025.861, df = 1, p = .000$)									

(4)大麻吸引による医学的害について

「大麻を吸うと、精神病状態や無動機症候群になることがあるのを知っていますか？」との問いに対する回答の分布を表56に示した。

回答の分布には、男女共に有意差 ($p < 0.05$) が認められた。ただし、女性では「知っている」を選んだ者は「シンナー遊び」非経験者群に多かったが、男性では「知っている」を選んだ者は、「シンナー遊び」経験者群の方が多という結果であった。これは有機溶剤乱用による医学的害知識の場合と同様に、知識教育上の課題になると考えられる。

4. 「シンナー遊び」と覚せい剤乱用との関係

(1) 覚せい剤乱用の生涯経験率について

覚せい剤乱用の生涯経験率（これまでに1回でも経験したことがある率）を表57に示した。

覚せい剤の生涯経験率は、男子では0.5%（1年生0.4%、2年生0.5%、3年生0.6%）で、女子では0.2%（1年生0.2%、2年生0.3%、3年生0.3%）であり、全体では0.4（0.3, 0.4, 0.4）であった。学年によ

る有意差は男女共に認められなかった。ちなみに1996年の第1回調査¹⁰⁾、1998年の第2回調査¹³⁾では、男子では、それぞれ、0.4%（1年生0.3%、2年生0.4%、3年生0.5%）0.7%（1年生0.5%、2年生0.7%、3年生0.8%）女子ではそれぞれ、0.2%（1年生0.3%、2年生0.2%、3年生0.3%）0.3%（1年生0.2%、2年生0.3%、3年生0.4%）全体では、それぞれ0.3（0.3, 0.3, 0.4）0.5（0.4, 0.5, 0.6）であった。

単純に比較すれば、この4年間で、中学生の覚せい剤乱用生涯経験率は、一旦増加し、その後、減少したことになる。これは、前述の大麻乱用生涯経験率と同様の傾向である。しかし、1996年の第1回調査、1998年の第2回調査同様、男女共に、全ての学年で、無回答の者の割合が経験者の割合を上回っており、相変わらず信頼性には少々疑問が残る。今回も、あくまでも参考データとして提供した。

(4) 「シンナー遊び」と覚せい剤乱用経験との関係

「シンナー遊び」の経験と覚せい剤乱用経験との関係を表58に示した。

「シンナー遊び」未経験者では、覚せい剤乱用

表 59 覚せい剤を使うと精神病状態になりやすく、またフラッシュバックがあることを知っていますか？

		生涯シンナー-経験						全体	
		なし		あり		無回答			
男性	知っている	16946	(55.5)	279	(54.6)	120	(48.8)	17345	(55.4)
	知らない	13290	(43.5)	212	(41.5)	111	(45.1)	13613	(43.5)
	無回答	323	(1.1)	20	(3.9)	15	(6.1)	358	(1.1)
	合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
($\chi^2 = .118, df = 1, p = .731$)									
女性	知っている	18588	(61.3)	160	(58.8)	82	(51.6)	18830	(61.3)
	知らない	11455	(37.8)	105	(38.6)	66	(41.5)	11626	(37.8)
	無回答	258	(.9)	7	(2.6)	11	(6.9)	276	(.9)
	合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
($\chi^2 = .248, df = 1, p = .618$)									
全体	知っている	35558	(58.4)	440	(56.1)	202	(49.9)	36200	(58.3)
	知らない	24751	(40.6)	317	(40.4)	177	(43.7)	25245	(40.7)
	無回答	582	(1.0)	27	(3.4)	26	(6.4)	635	(1.0)
	合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
($\chi^2 = .216, df = 1, p = .642$)									

表 60 有機溶剤の入手可能性

	生涯シナ-経験						全体	
	なし		あり		無回答			
男性	簡単に手に入る	6986 (22.9)	259 (50.7)	56 (22.8)	7301 (23.3)			
	苦勞するが手に入る	5433 (17.8)	112 (21.9)	42 (17.1)	5587 (17.8)			
	ほとんど不可能	5659 (18.5)	57 (11.2)	40 (16.3)	5756 (18.4)			
	絶対不可能	11800 (38.6)	71 (13.9)	83 (33.7)	11954 (38.2)			
	無回答	681 (2.2)	12 (2.3)	25 (10.2)	718 (2.3)			
	合計	30559 (100.0)	511 (100.0)	246 (100.0)	31316 (100.0)	$\chi^2 = 267.201, df=3, p=.000$		
女性	簡単に手に入る	4537 (15.0)	122 (44.9)	27 (17.0)	4686 (15.2)			
	苦勞するが手に入る	6160 (20.3)	67 (24.6)	28 (17.6)	6255 (20.4)			
	ほとんど不可能	5932 (19.6)	29 (10.7)	29 (18.2)	5990 (19.5)			
	絶対不可能	12945 (42.7)	50 (18.4)	59 (37.1)	13054 (42.5)			
	無回答	727 (2.4)	4 (1.5)	16 (10.1)	747 (2.4)			
	合計	30301 (100.0)	272 (100.0)	159 (100.0)	30732 (100.0)	$\chi^2 = 206.992, df=3, p=.000$		
全体	簡単に手に入る	11533 (18.9)	382 (48.7)	83 (20.5)	11998 (19.3)			
	苦勞するが手に入る	11598 (19.0)	179 (22.8)	70 (17.3)	11847 (19.1)			
	ほとんど不可能	11600 (19.1)	86 (11.0)	69 (17.0)	11755 (18.9)			
	絶対不可能	24751 (40.6)	121 (15.4)	142 (35.1)	25014 (40.3)			
	無回答	1409 (2.3)	16 (2.0)	41 (10.1)	1466 (2.4)			
	合計	60891 (100.0)	784 (100.0)	405 (100.0)	62080 (100.0)	$\chi^2 = 508.539, df=3, p=.000$		

表 61 大麻の入手可能性

	生涯シナ-経験						全体	
	なし		あり		無回答			
男性	簡単に手に入る	2405 (7.9)	110 (21.5)	34 (13.8)	2549 (8.1)			
	苦勞するが手に入る	4845 (15.9)	124 (24.3)	38 (15.4)	5007 (16.0)			
	ほとんど不可能	6973 (22.8)	110 (21.5)	56 (22.8)	7139 (22.8)			
	絶対不可能	15699 (51.4)	153 (29.9)	96 (39.0)	15948 (50.9)			
	無回答	637 (2.1)	14 (2.7)	22 (8.9)	673 (2.1)			
	合計	30559 (100.0)	511 (100.0)	246 (100.0)	31316 (100.0)	$\chi^2 = 184.820, df=3, p=.000$		
女性	簡単に手に入る	1810 (6.0)	55 (20.2)	11 (6.9)	1876 (6.1)			
	苦勞するが手に入る	5306 (17.5)	92 (33.8)	30 (18.9)	5428 (17.7)			
	ほとんど不可能	6693 (22.1)	45 (16.5)	30 (18.9)	6768 (22.0)			
	絶対不可能	15820 (52.2)	74 (27.2)	70 (44.0)	15964 (51.9)			
	無回答	672 (2.2)	6 (2.2)	18 (11.3)	696 (2.3)			
	合計	30301 (100.0)	272 (100.0)	159 (100.0)	30732 (100.0)	$\chi^2 = 166.491, df=3, p=.000$		
全体	簡単に手に入る	4221 (6.9)	166 (21.2)	45 (11.1)	4432 (7.1)			
	苦勞するが手に入る	10159 (16.7)	216 (27.6)	68 (16.8)	10443 (16.8)			
	ほとんど不可能	13675 (22.5)	155 (19.8)	86 (21.2)	13916 (22.4)			
	絶対不可能	31525 (51.8)	227 (29.0)	166 (41.0)	31918 (51.4)			
	無回答	1311 (2.2)	20 (2.6)	40 (9.9)	1371 (2.2)			
	合計	60891 (100.0)	784 (100.0)	405 (100.0)	62080 (100.0)	$\chi^2 = 357.224, df=3, p=.000$		

の経験があると選んだ者は、男子で0.2%、女子で0.1%、全体で0.2%であったのに対して、「シンナー遊び」経験者では、男子で18.2%、女子で18.8%の者が、覚せい剤の乱用経験ありを選んだ。

大麻同様、中学生における「シンナー遊び」と覚せい剤乱用との強い関係が強く示唆された。

(5) 覚せい剤乱用による医学的害について

「覚せい剤を使うと、精神病状態になりやすく、またフラッシュバックがあることを知っていますか？」との問いに対する回答の分布を表 59 に示した。

回答の分布には、男女共に、「シンナー遊び」非経験者群の方で、「知っている」を選んだ者が%上は多かったが、有意差は認められなかった。これらも、有機溶剤乱用による医学的害知識、大麻吸引による医学的害知識の場合と同様、知識教育上の課題になると考えられる。

5. 違法薬物の入手可能性について

(1) 乱用のための有機溶剤の入手可能性について

乱用のための有機溶剤の入手可能性についての回答の分布を表 60 に示した。

「シンナー遊び」非経験者群では、「ほとんど不可能」「絶対不可能」を選んだ者の合計が男性で 57%、女性で 62%と半数を超えていたが、「シンナー遊び」経験者群では、「簡単に手に入る」「少々苦労するが、なんとか手に入る」を選んだ者の合計は、男性で 72.6%、女性で 69.5%にもものぼった。全体では「シンナー遊び」非経験者群では、「ほとんど不可能」「絶対不可能」を選んだ者の合計が 60%であるのに対して、「シンナー遊び」経験者群では、「簡単に手に入る」「少々苦労するが、なんとか手に入る」を選んだ者の合計が、逆に 72%にもものぼっていた。両群間には明らかな違い ($p < 0.01$) が認められた。

(2) 大麻の入手可能性について

大麻の入手可能性についての回答の分布を表

表 62 覚せい剤の入手可能性

	生涯シンナー経験						全体	
	なし		あり		無回答			
男性								
簡単に手に入る	2625	(8.6)	124	(24.3)	33	(13.4)	2782	(8.9)
苦労するが手に入る	4711	(15.4)	113	(22.1)	39	(15.9)	4863	(15.5)
ほとんど不可能	6672	(21.8)	107	(20.9)	46	(18.7)	6825	(21.8)
絶対不可能	15963	(52.2)	156	(30.5)	107	(43.5)	16226	(51.8)
無回答	588	(1.9)	11	(2.2)	21	(8.5)	620	(2.0)
合計	30559	(100.0)	511	(100.0)	246	(100.0)	31316	(100.0)
								($\chi^2 = 200.400, df = 3, p = .000$)
女性								
簡単に手に入る	2314	(7.6)	63	(23.2)	17	(10.7)	2394	(7.8)
苦労するが手に入る	5320	(17.6)	82	(30.1)	29	(18.2)	5431	(17.7)
ほとんど不可能	6227	(20.6)	50	(18.4)	30	(18.9)	6307	(20.5)
絶対不可能	15813	(52.2)	72	(26.5)	68	(42.8)	15953	(51.9)
無回答	627	(2.1)	5	(1.8)	15	(9.4)	647	(2.1)
合計	30301	(100.0)	272	(100.0)	159	(100.0)	30732	(100.0)
								($\chi^2 = 142.353, df = 3, p = .000$)
全体								
簡単に手に入る	4944	(8.1)	188	(24.0)	50	(12.3)	5182	(8.3)
苦労するが手に入る	10040	(16.5)	195	(24.9)	68	(16.8)	10303	(16.6)
ほとんど不可能	12908	(21.2)	157	(20.0)	76	(18.8)	13141	(21.2)
絶対不可能	31783	(52.2)	228	(29.1)	175	(43.2)	32186	(51.8)
無回答	1216	(2.0)	16	(2.0)	36	(8.9)	1268	(2.0)
合計	60891	(100.0)	784	(100.0)	405	(100.0)	62080	(100.0)
								($\chi^2 = 347.111, df = 3, p = .000$)

61 に示した。

「簡単に手に入る」「少々苦勞するが、なんとか手に入る」を選んだの者の合計は、「シンナー遊び」未経験者群では、男子で 23%、女子で 24% であり、経験者群では、男子で 46%、女子で 54% であり、両群には有意差 ($p < 0.01$) が認められ、「シンナー遊び」経験者群での大麻入手可能性の高さが強く示唆された。

また、1996 年調査では、入手可能性は男性の方が高かったが、今回は%上は女性の方が高くなっていた。

(3) 覚せい剤の入手可能性について

「簡単に手に入る」「少々苦勞するが、なんとか手に入る」を選んだの者の合計は、「シンナー遊び」未経験者群では、男子で 24%、女子で 25% であり、経験者群では、男性で 46%、女性で 53% であり、両群には有意差 ($p < 0.01$) が認められた。

この結果は、大麻の入手可能性の値とほぼ同じであり、同時に、「シンナー遊び」経験者群での大麻入手可能性の高さが強く示唆された。

また、1998 年調査では、入手可能性は男性の

方が高かったが、今回は%上は女性の方が高くなっていた。

以上、3 つの違法性薬物の入手可能性については、考察で論じたい。

D. 考察

1. 本調査研究の位置づけ

わが国の中学生における「シンナー遊び」の広がりについての調査研究で、地域特性を考慮して行われた大規模なものとしては、当分担研究者の知る限り、1990年に当分担研究者らによって千葉県公立中学校12校5,240人を対象に行われた調査研究⁵⁾、その後の厚生科学研究費補助金による一連の調査研究(千葉県の公立中学校14校6,121人,1992年)¹⁴⁾、(関東地方一都六県公立中学校12校7,166人,1993年)¹⁵⁾、(千葉県の公立中学校15校6,795人,及び西日本のA県B市の全12校の全中学生6,358人,1994年)¹²⁾、1996年の第1回本全国調査¹⁰⁾、1998年の第2回本全国調査¹³⁾に限られている。

表63 「シンナー遊び」生涯経験率の推移 (%)

	1990年 ⁵⁾	1992年 ¹⁴⁾	1994年 ¹²⁾	1996年 ¹⁰⁾	1998年 ¹³⁾	今回	1996年 ¹⁰⁾	1998年 ¹³⁾	今回
男 性	2.1	2.5	1.8	1.5	1.7	1.5	1.4	1.7	1.6
1年生	1.2	1.8	1.0	1.4	0.8	1.1	1.1	1.2	1.4
2年生	2.9	3.5	2.2	1.3	1.8	1.3	1.3	1.6	1.6
3年生	2.3	2.0	2.3	1.9	2.6	2.2	1.7	2.3	1.9
女 性	0.9	1.2	1.1	0.8	0.6	0.5	0.7	0.9	0.9
1年生	0.4	0.9	1.0	0.6	0.7	0.5	0.7	0.9	0.8
2年生	0.8	1.2	1.2	0.6	0.7	0.3	0.6	0.8	0.8
3年生	1.7	1.5	1.1	1.2	0.3	0.6	0.7	1.1	1.1
全 体	1.5	1.8	1.5	1.2	1.2	1.0	1.1	1.3	1.3
1年生	0.8	1.4	1.0	1.0	0.8	0.8	0.9	1.1	1.1
2年生	1.9	2.4	1.7	1.0	1.2	0.8	1.0	1.2	1.2
3年生	1.9	1.8	1.7	1.6	1.4	1.3	1.3	1.7	1.5
対象	千葉県 12校 5,240人	千葉県 14校 6,121人	千葉県 15校 6,795人	千葉県 8校 4,521人	千葉県 9校 5,362人	千葉県 7校 3,754人	全国 108校 54,048人	全国 148校 71,796人	全国 140校 62,080人

また、上記一連の調査研究をもとに、当分担研究者は、従来「シンナー遊び」経験者は母子家庭を中心に、「単親家庭」の子供に多いことが指摘されてきたが、一見問題なさそうな家庭の子供における「シンナー遊び」が、近年目につくようになってきたという臨床経験に対して、夕食頻度等の結果から、たとえ両親がそろっていても、質的に家庭の団らんが少ない「精神的欠損家庭」⁵⁾¹⁶⁾とでも言うべき家庭の子供に「シンナー遊び」経験者が少なからずいることを示唆してきた⁵⁾¹⁶⁾。

今回の調査研究は、上記一連の調査研究を継続表発展させたものであり、わが国では薬物乱用に関する第3回目の全国中学生調査である。

2. 「シンナー遊び」の広がりについて

今回の調査研究では、「シンナー遊び」の生涯経験率は、男子では1.6%（1年生1.4%、2年生1.6%、3年生1.9%）、女子では0.9%（1年生0.8%、2年生0.8%、3年生1.1%）、全体では1.3%（1年生1.1%、2年生1.2%、3年生1.5%）であった。この結果は、男女合わせた全体では、1996年に実施した第1回全国調査の結果よりは0.2%高い値であるが、1998年に実施し

た第2回調査の結果と同じであり、男性では第2回調査の結果より0.1%減少したものの、女性では横這いであることを示している。（表63）

しかし、この種の調査で最も問題になるのは、結果の信頼性であろう。この信頼性は、自記式調査と同時に、何らかの客観的検査（たとえば尿からの馬尿酸の測定）を実施することによって、初めて明らかになることである。しかしながら、尿検査の実施は、個人の人権上の問題にも関わる難しい方法であり、実施は事実上不可能である。したがって、当研究者らは、類似した方法論にもとづく継続的な調査の結果によるトレンドを見ることが、本調査研究の主目的であると考えている。同時に「シンナー遊び」の広がりが増減を判断するには、生涯経験率だけではなく、いくつかの関連する指標の結果をも考慮して、総合的に判断する必要があると考えている。

一方、「シンナー遊び」を目撃したことのある率（目撃率：表64）、身近に「シンナー遊び」をしている人がいる率（乱用者を知っている率：表65）、「シンナー遊び」に誘われたことのある率（誘われ経験率：表66）は、中学生にとっての「シン

表64 「シンナー遊び」を実際に見たことがある者の率（%）

	1990年 ⁵⁾	1992年 ¹⁴⁾	1994年 ¹²⁾	1996年 ¹⁰⁾	1998年 ¹³⁾	今回	1996年 ¹⁰⁾	1998年 ¹³⁾	今回
男 性	27.5	24.6	19.0	16.5	9.9	5.7	12.2	10.7	8.6
1年生	23.8	21.6	17.1	12.6	6.3	4.0	9.9	8.7	7.4
2年生	26.5	18.5	19.1	17.5	9.6	6.9	12.6	9.9	8.2
3年生	31.7	21.9	20.6	19.0	13.4	6.0	14.1	13.3	10.1
女 性	27.9	20.1	16.2	15.2	7.5	5.6	11.4	9.8	8.4
1年生	22.0	17.0	12.7	11.9	6.7	6.2	9.1	8.3	7.0
2年生	27.9	13.6	17.3	15.0	7.6	5.0	12.0	9.5	7.9
3年生	32.2	16.9	18.5	18.6	8.1	5.6	13.0	11.5	10.2
全 体	27.7	22.3	17.6	15.8	8.7	5.7	11.8	10.3	8.5
1年生	22.9	19.3	15.0	12.2	6.5	5.1	9.5	8.5	7.2
2年生	27.1	16.1	18.1	16.3	8.6	5.9	12.3	9.7	8.1
3年生	32.0	19.4	19.5	18.8	10.7	5.8	13.6	12.4	10.2
対象	千葉県 12校 5,240人	千葉県 14校 6,121人	千葉県 15校 6,795人	千葉県 8校 4,521人	千葉県 9校 5,362人	千葉県 7校 3,754人	全国 108校 54,048人	全国 148校 71,796人	全国 140校 62,080人

ナ - 遊び」の身近さを示す重要な指標である。これらは全て、男女ともに、学年が進むにしたがって率が高くなっており、先の生涯経験率と表裏一体の関係にある。本研究者は、この目撃率、乱用者を知っている率、誘われ経験率が、「シンナー - 遊び」の広がりを間接的に反映する指標になると考えている。

今回の全国調査の結果では、第2回全国調査との比較では、男性、女性、全体の全てで、目撃率（表64）に関しては低下しており（10.3%から8.5%）、身近に「経験者がいる」と答えた者の率も、全てにおいて微減を示しているが（5.4%から4.9%）、「誘われた」ことのある者の率は男性では横這いであり、女性では微増を示し、全体でも微増を示していた（男性で1.9%のまま。女性で1.4%から1.5%。全体では1.6%から1.7%）。

以上を総合すると、男女合わせた全体では、「シンナー遊び」は横這い状態にあるが、男性では減少気味であるのに対して、女性では微増傾向が示唆されるということになる。以上の解釈は、千葉県での推移からも示唆されよう。

ただし、表1に示した各都道府県での実施率が生涯経験率に及ぼす影響もそれなりに考慮する必

要があろう。

3. 「シンナー - 遊び」と日常生活・家庭生活・友人関係

「シンナー遊び」経験者群と非経験者群との比較では、「起床時間の規則性」（表20）、「就床時間の規則性」（表21）、「朝食の摂取率」（表22）から見た日常生活の規則性、及び「学校生活への思い」（表23）、「クラブ活動の参加状況」（表24）、「親しく遊べる友人の存在」（表30）、「相談事の出来る友人の存在」（表31）において、統計学的有意差が認められており、「シンナー遊び」経験者群での日常生活の不規則さ、学校生活不適応、友人関係の希薄さが明かである。

これらの背景には、そもそもの家庭生活のあり方が大きく影響していると考えられるが、表25～27に見る家族との夕食頻度の差は、今回の調査でも「シンナー遊び」経験者群と非経験者群とで歴然としている。

ところで、「父親との夕食頻度（表27）」は、「家族全員での夕食頻度（表25）」よりも低率になっており、これは明らかに矛盾であった。しかも、

表65 身近に「シンナー遊び」をしている人がいると答えた者の率（%）

	1990年 ⁵⁾	1992年 ¹⁴⁾	1994年 ¹²⁾	1996年 ¹⁰⁾	1998年 ¹³⁾	今回	1996年 ¹⁰⁾	1998年 ¹³⁾	今回
男 性	9.4	8.0	4.6	9.1	3.7	2.4	4.8	5.0	4.3
1年生	5.6	7.0	3.7	7.0	2.3	1.7	3.5	3.4	2.8
2年生	10.4	4.2	4.2	10.8	3.6	2.2	4.5	4.9	4.4
3年生	11.8	8.9	5.7	9.4	5.1	3.1	6.4	6.6	5.5
女 性	14.0	9.0	5.4	7.3	3.6	3.2	5.6	5.8	5.5
1年生	8.2	8.2	3.3	4.8	3.5	3.4	3.9	4.1	4.0
2年生	14.2	6.0	6.5	8.3	4.1	2.4	6.2	5.8	5.0
3年生	18.1	9.5	6.5	8.6	3.2	3.9	6.8	7.4	7.4
全 体	11.6	8.5	5.0	8.2	3.6	2.9	5.2	5.4	4.9
1年生	6.8	7.6	3.5	5.9	2.9	2.6	3.7	3.7	3.4
2年生	12.2	5.0	5.2	9.5	3.8	2.3	5.3	5.3	4.7
3年生	14.9	9.2	6.1	9.0	4.2	3.6	6.6	7.0	6.5
対象	千葉県 12校 5,240人	千葉県 14校 6,121人	千葉県 15校 6,795人	千葉県 8校 4,521人	千葉県 9校 5,362人	千葉県 7校 3,754人	全国 108校 54,048人	全国 148校 71,796人	全国 140校 62,080人

この矛盾は、これまでの同種の調査⁵⁾¹⁰⁾¹³⁾でも毎回認められており、中学生の考えの中には、「家族全員での夕食」と言った時、父親は既に除外されている傾向がそれなりにあることを示唆している。つまり、その背景には、父親はいつも帰りが遅いものだという中学生の考え方を伺うことができる。

そもそも、当研究者らは、夕食には「一家団欒」という意味合いがあると考えて調査項目に入れてきた。しかし、この夕食頻度には地域差が大きく、都市部ほど低く、農村部・山間部ほど高い傾向がある⁵⁾¹⁴⁾¹⁵⁾。「一家団欒」には、家族としての精神的意味合いも含まれるが、特に都市部における生活様式の多様性を考慮すると、親子の共有時間についての、もう少し直接的な項目が必要であると考えていた。そこで「学校、塾、習い事、運動での時間以外、大人が不在の状態、毎日平均どの程度の時間を過ごしますか?」という項目も1998年より調べている(表28)。その結果、「シンナー遊び」非経験者では一日3時間以上大人不在で過ごす者は約13%であるのに対して、「シンナー遊び」経験者群では約26%にのぼるという結果を得た。つまり、夕食頻度の少なさも、少なくとも親子の

共有時間の少なさの一現れとして解釈できる。

また、中学生という年代は、基本的に親との相談頻度は低いようであるが(表29)、それでも「シンナー遊び」経験者群での相談頻度は有意に低く(表29)、ここでも「シンナー遊び」経験者群における親子の共有時間の少なさが示唆された。

結局、今回も、「シンナー遊び」経験者群は、総体的に見れば、家庭にも、学校にもなじみず、友人関係も希薄な中学生たちが多く、「居場所のない子供たち」⁵⁾¹⁷⁾が多いという推定が成り立つと考えている。

表11～表12は「シンナー遊び」をしている者について、どのような気持ちを持っているのかを見たものである。表11～12では、経験者群と非経験者群での捉え方に、明らかな乖離が認められる。非経験者から見れば、経験者はほとんど「無関係」な人たち(90%以上)であり、経験者から見れば経験者は「気持ちがわかる」人たちである割合が非常に高いということである。本研究者らは、「シンナー遊び」経験者にとってわかる気がするという、その気持ちとは、受容感と帰属感を求める「居場所のない子供たち」⁵⁾¹⁶⁾の共通の思いであろうと推測している。

表66 「シンナー遊び」に誘われたことのある率の推移 (%)

	1990年 ⁵⁾	1992年 ¹⁴⁾	1994年 ¹²⁾	1996年 ¹⁰⁾	1998年 ¹³⁾	今回	1996年 ¹⁰⁾	1998年 ¹³⁾	今回
男 性	3.0	3.5	1.9	2.3	2.5	1.6	1.7	1.9	1.9
1年生	2.0	3.1	0.3	1.0	0.9	0.8	1.2	0.9	1.3
2年生	3.5	2.1	1.9	2.7	3.0	1.1	1.7	1.8	1.8
3年生	3.5	3.6	3.5	3.1	3.4	2.7	2.4	2.8	2.5
女 性	2.2	3.7	1.4	2.0	0.9	1.3	1.5	1.4	1.5
1年生	0.8	2.7	1.1	1.8	1.1	2.0	1.1	0.9	1.1
2年生	2.0	1.2	1.1	1.8	0.9	0.7	1.6	1.4	1.4
3年生	3.3	3.2	2.1	2.3	0.6	1.4	1.8	1.9	2.1
全 体	2.6	3.6	1.7	2.1	1.7	1.5	1.6	1.6	1.7
1年生	1.5	2.9	0.7	1.4	1.0	1.4	1.1	0.9	1.2
2年生	2.8	1.7	1.5	2.3	1.9	0.9	1.6	1.6	1.6
3年生	3.3	3.4	2.8	2.7	2.0	2.1	2.1	2.3	2.3
対象	千葉県 12校 5,240人	千葉県 14校 6,121人	千葉県 15校 6,795人	千葉県 8校 4,521人	千葉県 9校 5,362人	千葉県 7校 3,754人	全国 108校 54,048人	全国 148校 71,796人	全国 140校 62,080人

有機溶剤乱用者への治療的介入の際に、当研究者らは、親の参加なくして子の回復はないと考えており、親子の共有時間を増やすことの重要性を説いているが⁵⁾¹⁶⁾¹⁸⁾、今回の結果はその理由の有力

な根拠である。

しかも、経験論的には、本調査の結果を保護者に紹介することが、保護者の意識変革には重要なようである。

表 67 違法薬物の入手可能性の比較

	簡単に 手に入る	苦労するが 手に入る	ほとんど 不可能	絶対 不可能	無回答	全体
「シンナー遊び」未経験群（男子）	n=30,559					
有機溶剤	22.9	17.8	18.5	38.6	2.2	100.0
大麻	7.9	15.9	22.8	51.4	2.1	100.0
覚せい剤	8.6	15.4	21.8	52.2	1.9	100.0
「シンナー遊び」未経験群（女子）	n=30,301					
有機溶剤	15.0	20.3	19.6	42.7	2.4	100.0
大麻	6.0	17.5	22.1	52.2	2.2	100.0
覚せい剤	7.6	17.6	20.6	52.2	2.1	100.0
「シンナー遊び」未経験群（全体）	n=60,891					
有機溶剤	18.9	19.0	19.1	40.6	2.3	100.0
大麻	6.9	16.7	22.5	51.8	2.2	100.0
覚せい剤	8.1	16.5	21.2	52.2	2.0	100.0
「シンナー遊び」経験群（男子）	n=511					
有機溶剤	50.7	21.9	11.2	13.9	2.3	100.0
大麻	21.5	24.3	21.5	29.9	2.7	100.0
覚せい剤	24.3	22.1	20.9	30.5	2.2	100.0
「シンナー遊び」経験群（女子）	n=272					
有機溶剤	44.9	24.6	10.7	18.4	1.5	100.0
大麻	20.2	33.8	16.5	27.2	2.2	100.0
覚せい剤	23.2	30.1	18.4	26.5	1.8	100.0
「シンナー遊び」経験群（全体）	n=784					
有機溶剤	48.7	22.8	11.0	15.4	2.0	100.0
大麻	21.2	27.6	19.8	29.0	2.6	100.0
覚せい剤	24.0	24.9	20.0	29.1	2.0	100.0
男子	n=31,316					
有機溶剤	23.3	17.8	18.4	38.2	2.3	100.0
大麻	8.1	16.0	22.8	50.9	2.1	100.0
覚せい剤	8.9	15.5	21.8	51.8	2.0	100.0
女子	n=30,732					
有機溶剤	15.2	20.4	19.5	42.5	2.4	100.0
大麻	6.1	17.7	22.0	51.9	2.3	100.0
覚せい剤	7.8	17.7	20.5	51.9	2.1	100.0
全体	n=62,080					
有機溶剤	19.3	19.1	18.9	40.3	2.4	100.0
大麻	7.1	16.8	22.4	51.4	2.2	100.0
覚せい剤	8.3	16.6	21.2	51.8	2.0	100.0

4. 「シンナー遊び」による医学的害

薬物乱用防止には、薬物乱用による諸害をきちんと認識させることが重要である。ところが、「知識」があれば乱用しないかとなると、そうとも言えない面がある。

有機溶剤乱用による「歯の腐食」(表15)「無動機症候群」(表18)「フラッシュバック」(表19)についての知識は、男女共に、経験者群の方が知っているという結果であった。これらは、これまでの一連の同種の調査⁵⁾¹²⁾¹⁴⁾¹⁵⁾でも認められており、「知識」と「行動」の不一致を改めて確認する結果となった。

しかし、1998年の第2回調査では、従来⁵⁾¹²⁾¹⁴⁾¹⁵⁾に反して、「急性中毒死」(表14)「多発神経炎」(表16)「精神病状態」(表17)についての知識保有率は、「シンナー遊び」非経験者の方が高く、ここ数年間での薬物乱用防止教育推進の結果の可能性があるかと思われたが、今回の結果は、再び従来に戻った結果であった。

ただし、質的側面から見て、このような調査での知識保有率が表す知識の中身は疑問もある。いずれにしても、今後も薬物乱用防止教育を協力を押し進めていく必要がある。

なお、薬物乱用防止教育には、「知識が行動に結びつくとは限らない」という大きな課題が常に存在するわけで、これに関しては、知識教育を行った上で、次の段階として、薬物依存からの回復の苦しみをドキュメンタリー形式で紹介したビデオ(平成9年度文部省制作「なくした自由」)の活用が効果的と考えられる。

5. 大麻・覚せい剤の乱用経験

そもそも、大麻及び覚せい剤の乱用経験率は参考データとした方が妥当と思われるが、参考データは参考データなりに推移を見る必要がある。

今回の調査では、大麻の生涯経験率は、男女共に全学年で減少傾向を見せている。しかし、覚せい剤の生涯経験率は、男性及び全体では全ての学年で減少傾向を見せているが、女性に関しては1年生、2年生では横這いであり、言い換えれば女性での減少が鈍い。この傾向は女性での「シンナー遊び」に誘われたことのある者の率(表66)の微増と無関係とは思えない。薬物乱用が普遍化してくると、女性での乱用者率が上がることによって、乱用者の男女比が縮まってくるのであり、今後が危惧される結果と考えられる。

表67 これまでに大麻使用経験のある者の率の推移 (%)

	1996年 ¹⁰⁾	1998年 ¹³⁾	今回
男性	0.7	0.9	0.6
1年生	0.4	0.7	0.4
2年生	0.7	0.8	0.6
3年生	0.8	1.0	0.7
女性	0.3	0.5	0.3
1年生	0.3	0.5	0.2
2年生	0.3	0.4	0.3
3年生	0.3	0.5	0.3
全体	0.5	0.7	0.4
1年生	0.4	0.6	0.3
2年生	0.5	0.6	0.5
3年生	0.6	0.8	0.5

表68 これまでに覚せい剤使用経験のある者の率の推移 (%)

	1996年 ¹⁰⁾	1998年 ¹³⁾	今回
男性	0.4	0.7	0.5
1年生	0.3	0.5	0.4
2年生	0.4	0.7	0.5
3年生	0.5	0.8	0.6
女性	0.2	0.3	0.2
1年生	0.3	0.2	0.2
2年生	0.2	0.3	0.3
3年生	0.3	0.4	0.3
全体	0.3	0.5	0.4
1年生	0.3	0.4	0.3
2年生	0.3	0.5	0.4
3年生	0.4	0.6	0.4

表69 大麻の入手可能性の推移 (%)

	1998年 ¹³⁾	今回
男 性		
簡単に手に入る	25.6 (7.6)	21.5 (7.9)
苦勞するが手に入る	25.0 (15.1)	24.3 (15.9)
ほとんど不可能	18.1 (23.9)	21.5 (22.8)
絶対不可能	28.3 (50.5)	29.9 (51.4)
不 明	3.0 (2.8)	2.7 (2.1)
女 性		
簡単に手に入る	24.5 (5.2)	20.2 (6.0)
苦勞するが手に入る	25.1 (15.7)	33.8 (17.5)
ほとんど不可能	21.7 (22.4)	16.5 (22.1)
絶対不可能	24.5 (54.2)	27.2 (52.2)
不 明	4.3 (2.5)	2.2 (2.2)
全 体		
簡単に手に入る	25.2 (6.4)	21.2 (6.9)
苦勞するが手に入る	25.0 (15.4)	27.6 (16.7)
ほとんど不可能	19.4 (23.2)	19.8 (22.5)
絶対不可能	27.0 (52.3)	29.0 (51.8)
不 明	3.5 (2.7)	2.6 (2.2)

%は「シンナー遊び」の経験者群（非経験者群）

表70 覚せい剤の入手可能性の推移 (%)

	1998年 ¹³⁾	今回
男 性		
簡単に手に入る	28.5 (8.5)	24.3 (8.6)
苦勞するが手に入る	22.7 (15.1)	22.1 (15.4)
ほとんど不可能	18.3 (22.4)	20.9 (21.8)
絶対不可能	27.7 (51.4)	30.5 (52.2)
不 明	2.9 (2.7)	2.2 (1.9)
女 性		
簡単に手に入る	26.0 (6.7)	23.2 (7.6)
苦勞するが手に入る	25.4 (15.8)	30.1 (17.6)
ほとんど不可能	17.4 (21.0)	18.4 (20.6)
絶対不可能	26.9 (54.2)	26.5 (52.2)
不 明	4.3 (2.3)	1.8 (2.1)
全 体		
簡単に手に入る	27.6 (7.6)	24.0 (8.1)
苦勞するが手に入る	23.6 (15.4)	24.9 (16.5)
ほとんど不可能	18.0 (21.7)	20.0 (21.2)
絶対不可能	27.4 (52.8)	29.1 (52.2)
不 明	3.3 (2.5)	2.0 (2.0)

%は「シンナー遊び」の経験者群（非経験者群）

第3次覚せい剤乱用期の特徴の一つは、若年層までへの乱用の拡大であり、今後も嚴重に調査していく必要がある。

6. 違法薬物の入手可能性の比較

1993年以来、一部の外国人を中心に、大麻および覚せい剤が、大都会では路上で密売されるようになり、第3次覚せい剤乱用期を作り出した⁹⁾。その影響と思われるが、1996年の1年間に覚せい剤取締法により検挙された高校生の数は対前年度比2.3倍と激増した⁹⁾。いくら有機溶剤乱用の勢いが鈍ったようだと言っても、この現実、わが国の薬物汚染状況の深刻化以外の何物でもない。

表 67 は、本調査による違法薬物の入手可能性の比較である。

有機溶剤は日常生活上の必需品であり、その気になれば入手は極めて簡単である。しかし、表 67 の結果は「簡単に手に入る」を選んだ者が、予想外に少ない。どうやら、「シンナー遊び」のための「有機溶剤」という問いの言葉から、トルエンの入手を想定した者が多かった可能性がある。ただし、大麻、覚せい剤の入手可能性に比べれば、「シンナー遊び」の経験の有無に関わらず、常に高い結果であり、実感として納得できるところである。

問題は大麻及び覚せい剤の入手可能性である。女性を除けば、男性及び全体で「シンナー遊び」経験者群では大麻の入手可能性も覚せい剤の入手可能性も減少傾向を示しているが、「シンナー遊び」非経験者群では、入手可能性の増加傾向が伺われる。薬物乱用非経験者は関連情報をマスメディアから得る傾向にあり、結果として、印象をそれに左右される面がある。一方、経験者群は体験的ないしは実情に近い情報を得ていることが少なくない。したがって、1998年と2000年との変化をどう読むかは、難しい問題である。

ただし、女性に関しては、覚せい剤の入手可能性は、「シンナー遊び」の経験の有無に関わらず、減少傾向とは言えず、「シンナー遊び」に誘われたことのある者の率、覚せい剤の乱用経験率での女性での特徴と同様に気がかりな結果であった。

今後の継続的な調査が要求される項目である。

7. 薬物乱用に対する法の遵守性

わが国の規制薬物乱用が、多くの国に比べて少ない背景には、国民の法に対する遵守性の高さがあるのではないかと本研究からは推定している。

喫煙については非喫煙群全体の13%（表 34）の者が「少々ならかまわない」を選んでいるのに対して、「シンナー遊び」に関しては、それを選んだ者は「シンナー遊び」非経験者群全体の4%（表 9）に過ぎず、大麻では「シンナー遊び」非経験者全体の2%（表 55）であったことは、同じ依存性薬物と言えども、有機溶剤乱用への垣根は高いことを物語っている。（覚せい剤に関しては、尋ねていない）

しかも、表 54 と表 58 に示したように、「シンナー遊び」の経験と大麻・覚せい剤乱用の経験とは、強い結びつきを持っており、わが国では「シンナー遊び」は大麻・覚せい剤乱用への「ゲイトウェイ・ドラッグ」としてとらえてかまわないであろう。

8. 「ゲイトウェイ・ドラッグ」としてのタバコとアルコール

中学生における喫煙及び飲酒が「シンナー遊び」への「ゲイトウェイ」になっている可能性が高いことは以前より指摘してきたが⁽⁵⁾⁽¹²⁾⁽¹⁴⁾⁽¹⁵⁾、表50及び表52の結果は、大人が同伴しない飲酒と「シンナー遊び」との結びつきの強さと、喫煙経験と「シンナー遊び」との結びつきの強さを再確認させるものである。このことは、薬物乱用・依存に果たす「仲間」の役割の大きさを強く示唆している。

中学生における喫煙・飲酒防止を行う際には重視すべき重要な点の一つと考えられる。

E. 結論

わが国の中学生における薬物乱用の広がりを把握し、特に有機溶剤乱用に関する危険因子を特定することによって、中学生に対する薬物乱用防止対策の基礎資料として資するために、飲酒・喫煙・有機溶剤乱用に対する意識・実態、大麻・覚せい剤乱用に対する意識・実態調査を実施した。調査期間は、2000年10月中（一部11～12月中）であり、層別1段集落抽出法により選ばれた全国190校の全生徒を対象に、自記式調査を実施した。その

結果、140校(対象校の73.7%)より、62,198人(対象校190校の全生徒の63.9%前後)の回答を得た。有効回答数は62,080人(対象校190校の全生徒の63.8%前後)であった。

ただし、回答が得られなかった県が1県あり、都道府県毎の回答率には、未だ少々ばらつきがあることをふまえた上で、本調査の結果を利用する必要がある。

このような限界はあるが、以下のような結論を得た。

男子では1.6%(1年生1.4%、2年生1.6%、3年生1.9%)、女子では0.9%(1年生0.8%、2年生0.8%、3年生1.1%)、全体では1.3%(1年生1.1%、2年生1.2%、3年生1.5%)の者が、これまでに有機溶剤乱用を経験したことがあると回答した。

この結果は、男女合わせた全体では、1996年に実施した第1回全国調査の結果よりは0.2%高い値であるが、1998年に実施した第2回調査の結果と同じであり、男性では第2回調査の結果より0.1%減少したものの、女性では横這いであることを示している。

有機溶剤乱用の目撃率に関しては男性、女性、全体の全てにおいて低下しており(全体で10.3%から8.5%)、「経験者がいる」と答えた者の率も、全てにおいて微減を示していたが(全体で5.4%から4.9%)、「誘われた」ことのある者の率は男性では横這いであり、女性では微増を示し、全体でも微増を示していた(男性で1.9%のまま。女性で1.4%から1.5%。全体では1.6%から1.7%)。

以上を総合すると、男女合わせた全体では、有機溶剤乱用は横這い状態にあるが、男性では減少気味であるのに対して、女性では微増傾向が示唆されるということになる。

以上の解釈は、千葉県での推移からも示唆された。

有機溶剤乱用経験者群では、非経験者群に比べて、日常生活の規則性、学校生活、家庭生活、友人関係において、好ましくない傾向が統計学的有意差を持って強いことが再確認された。

その背景には、家庭生活のあり方が大きく影響していると考えられる。経験者群では、「親との相談頻度」「家族との夕食頻度」が有意に低く、逆に「大人不在での時間」が有意に長く、親子の共有時間が少ない傾向がうかがわれた。

結局、有機溶剤経験者群は、総体的に見れば、家庭にも、学校にもなじみず、友人関係も希薄な中学生たちが多く、「居場所のない子供たち」と推定することができよう。

また、中学生における喫煙と大人が同伴しない飲酒は、有機溶剤乱用と強い繋がりを持っており、これらは、有機溶剤乱用への「ゲイトウェイ」となっている可能性が強く示唆された。

有機溶剤乱用による医学的害では、「歯の腐食」、「無動機症候群」、「フラッシュバック」についての知識は、男女共に、経験者群の方が知っているという結果であった。これらは、これまでの一連の調査でも認められており、「知識」と「行動」の不一致を改めて確認する結果となった。

大麻の生涯経験率は、男子で0.6%、女子で0.3%、全体で0.4%であり、覚せい剤の生涯経験率は、男子で0.5%、女子で0.2%、全体で0.4%であった。

大麻の生涯経験率は、男女共に全学年で減少傾向を見せていた。しかし、覚せい剤の生涯経験率は、男性及び全体では全ての学年で減少傾向を見せていたが、女性に関しては、1年生、2年生では横這いであり、言いかえれば女性での減少が鈍かった。この傾向は女性での有機溶剤乱用に誘われたことのある者の率の微増と無関係とは思えない。薬物乱用が普遍化してくると、女性での乱用者率が上がることによって、乱用者の男女比が縮まってくるのであり、今後が危惧される結果と考えられる。

ただし、結果の数字自体が、無回答の者の割合よりも低く、積極的に論じることはできないが、今後も推移を見る必要がある。

違法性薬物の入手可能性については、有機溶剤は日常生活上の必需品であり、その入手可能性への認識は高かった。

大麻の入手可能性について、入手可能と認識していた者は有機溶剤乱用未経験者群では、男子の23%、女子の24%であったが、経験者群では、男子で46%、女子で54%であり、有機溶剤乱用経験者群での大麻入手可能性の高さが強く示唆された。

覚せい剤の入手可能性について、入手可能と認識していた者は有機溶剤乱用未経験者群では、男子の24%、女子の25%であったが、経験者群では、男子で46%、女子で53%であり、有機溶剤

乱用経験者群での覚せい剤入手可能性の高さが強く示唆された。

これらは、第3次覚せい剤乱用期を象徴するような結果（入手可能性の高さ）であった。

薬物の乱用経験率には、法の遵守性が大きく影響する。喫煙については非喫煙群全体の13%の者が「少々ならかまわない」を選んでいるのに対して、有機溶剤乱用については、それを選んだ者は有機溶剤乱用非経験者群全体の4%に過ぎず、大麻では有機溶剤乱用非経験者全体の2%であった。同じ依存性薬物と言えども、有機溶剤・大麻乱用への垣根は高いことを物語っていた。

しかし、有機溶剤乱用の経験と、大麻・覚せい剤乱用の経験とには、強い結びつきが認められ、同時に、喫煙経験と有機溶剤乱用経験との間にも強い結びつきが認められた。中学生では、喫煙・有機溶剤乱用・大麻・覚せい剤乱用という流れがあることが強く示唆された。

謝辞

本調査研究にご回答をいただいた、多くの学校関係者および生徒、ならびに、本調査の実施に関して御尽力いただいた多くの方々に、心よりお礼を述べさせていただきます。

また、調査用紙回収後の困難な資料整理に協力していただいた、東京ダルク、茨城ダルクの協力者に感謝いたします。

参考文献

1)尾崎 茂、和田 清、福井 進：全国の精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査．平成10年度厚生科学研究費補助金（医薬安全総合研究事業）研究報告書「薬物乱用・依存等の疫学的研究及び中毒性精神障害者等に対する適切な医療のあり方についての研究」（主任研究者：和田 清）．pp.85-116．1999．

2) 和田 清、福井 進：覚せい剤精神病の臨床症状--覚せい剤使用年数との関係--．アルコール研究と薬物依存 25:143-158,1990.

3) 和田 清：“Gateway Drug”概念について．日本アルコール・薬物医学会雑誌 34(2): 95-106, 1999.

4) Wada,K., Fukui, S.: Demographic and

Social Characteristics of Solvent Abuse Patients in Japan. The American Journal on Addictions 3:165-176, 1994.

5) Wada,K., Fukui, S.: Prevalence of volatile solvent inhalation among junior high school students in Japan and background life style of users. Addiction 88: 89-100, 1993.

6) Wada, K, Price, RK, Fukui, S: Cigarette smoking and solvent use among Japanese adolescents. Drug and Alcohol Dependence 46: 137-145, 1997.

7) Wada, K, Price, RK, Fukui, S: Reflecting Adult Drinking Culture: Prevalence of Alcohol Use and Drinking Situations among Japanese Junior High School Students in Japan. Journal of Studies on Alcohol 59: 381-386, 1998.

8) 和田 清：中学生における飲酒 - 飲酒文化の反映 - ．日本アルコール・薬物医学会雑誌 34: 36-48, 1999.

9) 和田 清：薬物乱用の現状と歴史．神経精神薬理 19: 913-923, 1997.

10) 和田 清、勝野眞吾、尾崎米厚、中野良吾：中学生における「シンナー遊び」・喫煙・飲酒についての調査研究．平成8年度厚生科学研究費補助金（麻薬等対策総合研究事業）研究報告書「薬物依存・中毒者の疫学調査及び精神医療サービスに関する研究班」（主任研究者：寺元 弘）第1分冊薬物乱用・依存の多面的疫学調査研究(2)．pp.21-60．1997．

11) 文部省大臣官房調査統計企画課：全国学校総覧2000年版．原書房．東京．1999.

12) 和田 清：中学生における「シンナー遊び」・喫煙・飲酒についての調査研究．平成6年度厚生科学研究費補助金「麻薬等総合対策研究事業」薬物依存の社会的、精神医学的特徴に関する研究（主任研究者：福井 進）平成6年度研究成果報告書．pp.35-60．1995.

13) 和田 清、中野良吾、尾崎米厚、勝野眞吾：

薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査・平成10年度厚生科学研究費補助金（医薬安全総合研究事業）研究報告書「薬物乱用・依存等の疫学的研究及び中毒性精神障害者等に対する適切な医療のあり方についての研究（主任研究者：和田 清）. pp.19-83 . 1999 .

14) 和田 清：中学生における「シンナ - 遊び」・喫煙・飲酒についての調査研究・平成4年度厚生科学研究費補助金「麻薬等総合対策研究事業」薬物依存の社会的、精神医学的特徴に関する研究（主任研究者：福井 進）平成4年度研究成果報告書. pp.25-63. 1993.

15) 和田 清：中学生における「シンナ - 遊び」・

喫煙・飲酒についての調査研究・平成5年度厚生科学研究費補助金「麻薬等総合対策研究事業」薬物依存の社会的、精神医学的特徴に関する研究（主任研究者：福井 進）平成5年度研究成果報告書. pp.27-54. 1994.

16) 和田 清：有機溶剤乱用発生の社会的背景-- 青少年にとり有機溶剤とは何か-- . アルコール医療研究 8: 179-184, 1991.

17) 和田 清：中学生における飲酒 - 飲酒文化の反映 - . 日本アルコール・薬物医学会雑誌34: 36-48, 1999.

18) 和田 清：有機溶剤乱用と家族・精神保健研究 7: 13-17, 1994.

飲酒・喫煙・薬物乱用についての意識・実態調査

（第6版-00）

飲酒・喫煙・薬物乱用は、青少年の心と体の両面に様々な害を及ぼします。

この調査は、今日の中学生が飲酒・喫煙・薬物乱用をどの様に考えており、また、実際にどのくらいの人が飲酒・喫煙・薬物乱用を経験しているかを調べ、今後の対策の参考にします。

回答者がわからないように以下のように配慮されています。

- ・この調査用紙には、氏名など個人を見つけて出せそうなものを書くところはありません。
- ・先生には、必要に応じて、生徒の質問に答えていただきますが、必要以上に生徒の所には行かず、生徒が書きやすいように努めていただきます。
- ・書き終わったら、配られた封筒に用紙を入れて封をし、先生の持っている大きな袋に封筒ごと入れてください。
- ・調査用紙は、封を切られることなく（学校の先生などに結果を知られることなく）、下記の研究室に運ばれ、研究室で開封し、厳重に保管され、研究以外の目的には使用しません。
- ・調査結果も、集められた結果を全体でまとめて処理します。個人が特定されることはありません。

各質問に対する回答は、ことわりがない限り、自分の場合に最も近いものの数字を一つだけ、丸で囲んでください。

実施機関：国立精神・神経センター - 精神保健研究所 薬物依存研究部 千葉県市川市国府台1-7-3 TEL.047-372-0141

-
- | | |
|----------------------------|--|
| （質問1）あなたは男性ですか、女性ですか？ | 1 . 男性 2 . 女性 |
| （質問2）あなたは中学何年生ですか？ | 1 . 1年生 2 . 2年生 3 . 3年生 |
| （質問3）あなたの起床時間は、ほぼ一定していますか？ | 1 . はい 2 . いいえ |
| （質問4）あなたの就寝時間は、ほぼ一定していますか？ | 1 . はい 2 . いいえ |
| （質問5）あなたは、毎朝、朝食を食べていますか？ | 1 . ほとんど毎日食べている
2 . 時々食べる
3 . ほとんど食べない |
| （質問6）あなたにとって、学校生活は次のどれですか？ | 1 . とても楽しい。
2 . どちらかといえば楽しい |

- 3. あまり楽しくない
- 4. まったく楽しくない

(質問7) あなたはクラブ活動(部活)に参加していますか?

- 1. 積極的に参加している
- 2. 消極的に参加している
- 3. 参加していない

(質問8) あなたは、母親と週何回くらい夕食を食べますか?

- 1. ほとんど毎日
- 2. 5~6回
- 3. 4回前後
- 4. 3回前後
- 5. 2回前後
- 6. ほとんど食べない
- 7. 母親がいない(単身赴任、死別、別居、離婚など)

(質問9) あなたは、父親と週何回くらい夕食を食べますか?

- 1. ほとんど毎日
- 2. 5~6回
- 3. 4回前後
- 4. 3回前後
- 5. 2回前後
- 6. ほとんど食べない。
- 7. 父親がいない(単身赴任、死別、別居、離婚など)

(質問10) あなたは、夕食を週何回くらい家族全員で食べますか?

- 1. ほとんど毎日
- 2. 5~6回
- 3. 4回前後
- 4. 3回前後
- 5. 2回前後
- 6. ほとんど食べない

(質問11) あなたは、学校・塾・習い事・運動での時間以外、大人が不在の状態、毎日平均どの程度の時間を過ごしますか?

- 1. なし、あるいは、ほとんどなし
- 2. 1時間未満
- 3. 1時間以上2時間未満
- 4. 2時間以上3時間未満
- 5. 3時間以上

(質問12) あなたは、親しく遊べる友人がいますか?

- 1. いる
- 2. いない

(質問13) あなたは、相談事のできる友人がいますか?

- 1. いる
- 2. いない

(質問14) あなたは、悩みごとがある時、親と相談する方だと思いますか?

- 1. よく相談する方である
- 2. どちらかと言えば相談する方である
- 3. どちらかと言えば相談しない方である
- 4. ほとんど相談しない方である
- 5. 親がいない(単身赴任・死別・別居・離婚など)

(質問15) あなたは、これまでに一回でも、タバコを吸ったことがありますか?

(ある場合は、初めて吸った時の年齢を選んでください。)

- 1. 吸ったことがない
- 2. 10歳以下
- 3. 11歳
- 4. 12歳
- 5. 13歳
- 6. 14歳
- 7. 15歳以上
- 8. 吸ったことはあるが、年齢はおぼえていない

(質問16) あなたは、この1年間で、タバコを吸ったことがありますか?

- 1. 一度も吸わなかった
- 2. 1年間で1~数回吸った
- 3. 月に数回吸った
- 4. 週に数回吸った
- 5. ほとんど毎日吸った

(質問17) あなたは、健康面から、喫煙をどう思いますか?

- 1. 害ばかりで、良い面はないと思う
- 2. 害もあるが、良い面もあると思う
- 3. 害よりも、良い面の方が多いと思う

(質問18) 未成年者の喫煙は法律で禁じられていますが、あなたは未成年者の喫煙をどう思いますか?

- 1. 法律で禁じられているから、吸うべきでないと思う
- 2. 法律で禁じられてはいるが、少々ならかまわないと思う
- 3. 法律で禁じられてはいるが、全然かまわないと思う

(質問19) あなたは、未成年者の喫煙禁止をどう思いますか?

- 1. 当然だと思う
- 2. しかたのないことだと思う
- 3. 成人が吸えて、未成年者が吸えないのはおかしいと思う
- 4. そもそも法律で決める必要はなく、個人の好きにさせればよいと思う

(質問20) あなたは、これまでに、下記の時に、一回でも、アルコール(ビール、日本酒、焼酎、ワイン、ウィスキー - など)を飲んだことがありますか？
(いくつ選んでもけっこうですが、なめただけの場合は、含めないで下さい。ただし、「1」を選んだときには、その他は選ばないでください。)

1. 飲んだことがない
2. 冠婚葬祭(結婚式・祭り・葬式・法事・盆・正月など)の時に飲んだことがある
3. 家族での食事などの時に、家族といっしょに飲んだことがある
4. クラス会、打ち上げ、友達とのパーティーの時に、仲間と飲んだことがある
5. カラオケボックス、居酒屋、飲み屋などで、仲間と飲んだことがある
6. 自分や誰かの部屋で、仲間と飲んだことがある
7. 一人で飲んだことがある

(質問21) あなたは、上記のいずれかの機会、初めてアルコールを飲んだ(なめただけの場合は、含めないで下さい。)のは、何歳の時ですか？

1. 飲んだことがない
2. 10歳以下
3. 11歳
4. 12歳
5. 13歳
6. 14歳
7. 15歳以上
8. 飲んだことはあるが、年齢はおぼえていない

(質問22) あなたは、この1年間に一回でも、アルコールを飲んだことがありますか？
(飲んだことのある機会をいくつ選んでもけっこうですが、なめただけの場合は、含めないで下さい。ただし、「1」を選んだときには、その他は選ばないでください。)

1. 飲んだことがない
2. 冠婚葬祭(結婚式・祭り・葬式・法事・盆・正月など)の時に飲んだことがある
3. 家族での食事などの時に、家族といっしょに飲んだことがある
4. クラス会、打ち上げ、友達とのパーティーの時に、仲間と飲んだことがある
5. カラオケボックス、居酒屋、飲み屋などで、仲間と飲んだことがある
6. 自分や誰かの部屋で、仲間と飲んだことがある
7. 一人で飲んだことがある

(質問23) あなたは、この1年間に、どのくらいの頻度でアルコールを飲みましたか？

1. 一度も飲まなかった
2. 1年間で1~数回飲んだ
3. 月に数回飲んだ
4. 週に数回飲んだ
5. ほとんど毎日飲んだ

(質問24) あなたは、健康面から、飲酒をどう思いますか？

1. 害ばかりで、良い面はないと思う
2. 害もあるが、良い面もあると思う
3. 害よりも、良い面の方が多いと思う

(質問25) 未成年者の飲酒は禁止されていますが、あなたは、未成年者の飲酒をどう思いますか？

1. 法律で禁止されているから、飲むべきではないと思う
2. 法律で禁止されてはいるが、時と場合に応じては、かまわないと思う
3. 法律で禁止されてはいるが、全然かまわないと思う

(質問26) あなたは、未成年者の飲酒禁止をどう思いますか？

1. 当然だと思う
2. しかたのないことだと思う
3. 成人が飲めて、未成年者が飲めないのはおかしいと思う
4. そもそも法律で決める必要はなく、個人の好きにさせればよいと思う

(質問27) あなたは、「シンナ - 遊び」をしているところを実際に見たことがありますか？

1. ない
2. ある

(質問28) あなたの身近に、「シンナ - 遊び」をしている人がいますか？

1. いない
2. いる

(質問29) あなたは、「シンナ - 遊び」に誘われたことがありますか？

1. ない
2. ある

(質問30) 「シンナ - 遊び」について、あなたの気持ちは次のどれに最も近いですか？

1. 関心がない
2. 見てみたい
3. 試してみたい
4. 経験がある

(質問31) あなたは、「シンナ - 遊び」をしている人について、どう思いますか？

1. 自分には無関係の人だと思う
2. 「シンナ - 遊び」をする気持ちが理解できる気がする
3. 親しみをを感じる

(質問32) あなたは、「シンナ - 遊び」をしている人と親しくなることについて、どう考えますか？

1. 親しくなりたくない
2. 「シンナ - 遊び」だけで決めたくはない
3. すでに親しい

(質問33) あなたは、これまでに一回でも、「シンナ - 遊び」を経験したことがありますか？
(ある場合は、初めて経験した時の年齢を選んでください。)

1. 経験がない
2. 10歳以下
3. 11歳
4. 12歳
5. 13歳
6. 14歳
7. 15歳以上
8. 経験はあるが、年齢はおぼえていない

(質問34) あなたは、この1年間に一回でも、「シンナ - 遊び」をしたことがありますか？

1. ない
2. ある

(質問35) 「シンナ - 遊び」は法律で禁止されていますが、あなたは「シンナ - 遊び」について、どう思いますか？

1. 法律で禁止されているから、すべきではないと思う
2. 法律で禁止されてはいるが、少々ならかまわないと思う
3. 法律で禁止されてはいるが、それを守る必要は全然ないと思う

(質問36) あなたは、法律で「シンナ - 遊び」を禁止しているのをどう思いますか？

1. 当然だと思う
2. しかたのないことだと思う
3. 麻薬・覚せい剤とちがって、シンナ - くらい禁止しなくてもいいのではないかと思う
4. そもそも法律で決める必要はなく、個人の好きにさせればよいと思う

(質問37) あなたは、「シンナ - 遊び」で死亡すること(急性中毒死)があるのを知っていますか？

1. 知っている
2. 知らない

(質問38) あなたは、「シンナ - 遊び」を繰り返すと、歯がぼろぼろになりやすいことを知っていますか？

1. 知っている
2. 知らない

(質問39) あなたは、「シンナ - 遊び」を繰り返すと、手足の筋肉や神経が衰え、物をつかめなくなったり、歩けなくなる(多発神経炎)があるのを知っていますか？

1. 知っている
2. 知らない

(質問40) あなたは、「シンナ - 遊び」を繰り返すと、何も無いのに物が見えたり(幻視)、実際には何も聞こえないのに、声が聞こえたり(幻聴)、誰も何とも思っていないのに、人が自分の事を非難していると思いだんだり(妄想)する状態(精神病状態)になることがあるのを知っていますか？

1. 知っている
2. 知らない

(質問41) あなたは、「シンナ - 遊び」を繰り返すと、何事にも関心が持たなくなり、結果的に学校を欠席しがちになり、どんな仕事に就いても、長続きしなくなる(無動機症候群)を知っていますか？

1. 知っている
2. 知らない

(質問42) あなたは、「シンナ - 遊び」の結果、幻視、幻聴、妄想が出るようになってしまうと、それを治療して治っても、その後「シンナ - 遊び」をやめていても、疲れ・ストレス・飲酒などで、幻視、幻聴、妄想が再び出現すること(フラッシュバック)があるのを知っていますか？

1. 知っている
2. 知らない

(質問43) あなたは、「シンナー遊び」をしている人たちは、どうして「シンナー遊び」するのだと思いますか？
(いくつ選んでもけっこうです。)

- 1. 本人に問題があるから
- 2. 家庭に問題があるから
- 3. 学校に問題があるから
- 4. 社会に問題があるから

(質問44) あなたは、これまでに一回でも、大麻(マリファナ、ハッシュッシュも同じものです)を吸ったことがありますか？(ある場合は、初めて吸った時の年齢を選んでください。)

- 1. 経験がない
- 2. 10歳以下
- 3. 11歳
- 4. 12歳
- 5. 13歳
- 6. 14歳
- 7. 15歳以上
- 8. 経験はあるが、年齢はおぼえていない

(質問45) あなたは、大麻を吸うことをどう思いますか？

- 1. 吸うべきではないと思う
- 2. 麻薬・覚せい剤とちがって、少々ならかまわないと思う
- 3. まったくかまわないと思う

(質問46) あなたは大麻を吸うと、上記の質問40や質問41と同じ精神病状態や無動機症候群になることがあるのを知っていますか？

- 1. 知っている
- 2. 知らない

(質問47) あなたは、これまでに一回でも、覚せい剤(スピード、エスも同じものです)を使用したことがありますか？(ある場合は、初めて使用した時の年齢を選んでください。)

- 1. 経験がない
- 2. 10歳以下
- 3. 11歳
- 4. 12歳
- 5. 13歳
- 6. 14歳
- 7. 15歳以上
- 8. 経験はあるが、年齢はおぼえていない

(質問48) 覚せい剤を使うと、上記の質問40と同じ精神病状態になりやすく、また質問42のようなフラッシュバックがあることを知っていますか？

- 1. 知っている
- 2. 知らない

(質問49) あなたが「シンナー遊び」のために有機溶剤を手に入れようとした場合、それはどの程度むずかしいですか？

- 1. 簡単に手に入る
- 2. 少々苦労するが、なんとか手に入る
- 3. ほとんど不可能だ
- 4. 絶対不可能だ

(質問50) あなたが大麻を手に入れようとした場合、それはどの程度むずかしいですか？

- 1. 簡単に手に入る
- 2. 少々苦労するが、なんとか手に入る
- 3. ほとんど不可能だ
- 4. 絶対不可能だ

(質問51) あなたが覚せい剤を手に入れようとした場合、それはどの程度むずかしいですか？

- 1. 簡単に手に入る
- 2. 少々苦労するが、なんとか手に入る
- 3. ほとんど不可能だ
- 4. 絶対不可能だ

ご協力ありがとうございました。